

令和6年度 第5回
日野市教育委員会定例会議事録要旨

令和6年（2024年）8月15日

日野市教育委員会

令和6年度第5回日野市教育委員会定例会

開催日時 令和6年(2024年)8月15日(木)
14時00分～17時28分

開催場所 506会議室(504会議室)

出席委員 教 育 長 堀川 拓郎 教育長職務代理者 高木 健夫
委 員 真野 広 委 員 正留 久巳
委 員 岩下 優美子

議事録署名委員 委 員 正留 久巳

事務局出席者 教 育 部 長 中田 秀幸 教育部参事 長崎 将幸
(兼教育指導課長)
庶 務 課 長 釜堀 亜矢子 教育指導課主幹 坪田 充博
統括指導主事 前田 健太 教育指導課指導係長 河住 祐子
教育指導課主任 小松 有希子

傍聴者 25名

書記 庶務課庶務係長 岸本 洋輔
庶務課主事 金澤 仁

議事内容 別紙のとおり

この議事録は事実と相違ないことを認め、ここに署名します。

議事録署名

教 育 長

堀川 拓郎

議事録署名

委 員

正留 久巳

議事内容

議案

- 第 2 5 号 日野市立小学校教科用図書の採択について
- 第 2 6 号 日野市立中学校教科用図書の採択について
- 第 2 7 号 日野市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について
- 第 2 8 号 教育委員会職員人事について

協議事項

- 第 1 号 日野市立中学校教科用図書の選定について

請願審査

- 第 6-6 号 2025 年度使用開始の中学校公民・育鵬社”教科書”が”愛国心” ”君が代敬意表明”等を強制しているのは間違っていると、本市の教職員に周知頂きたい等の請願

報告事項

- 第 1 2 号 行政情報の公開請求

(議事の要旨)

開始 1 4 時 0 0 分

[堀川教育長]

ただいまから、令和 6 年度第 5 回教育委員会定例会を開会いたします。

本日は、傍聴を許可したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしと認め、傍聴を許可します。

本日の議事録署名は、正留委員にお願いいたします。

本日の案件は、追加案件も含めまして、議案 4 件、協議事項 1 件、請願 1 件、報告事項 1 件です。

会議の進め方ですが、まず請願第 6－6 号を審査し、次に、協議事項第 1 号を協議し、次に、議案第 2 6 号を審議したいと思います。続けて、議案第 2 5 号より順次、審議を進めていきたいと思っています。また、議案第 2 8 号は、公開しない会議とし、最後に審議したいと思います。よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしと認め、まず請願第 6－6 号を審査し、次に、協議事項第 1 号を協議し、次に、議案第 2 6 号を審議します。続けて、議案第 2 5 号より順次、審議を進めていきます。また、議案第 2 8 号は、公開しない会議とし、最後に審議いたします。

それでは、議事に入ります。

請願第 6－6 号 2025 年度使用開始の中学校公民・育鵬社“教科書”が“愛国心”“君が代敬意表明”等を強制しているのは間違っていると、本市の教職員に周知頂きたい等の請願について、事務局より説明をお願いします。庶務課長。

○請願第 6－6 号 2025 年度使用開始の中学校公民・育鵬社“教科書”が“愛国心”“君が代敬意表明”等を強制しているのは間違っていると、本市の教職員に周知頂きたい等の請願

[釜堀庶務課長]

庶務課長でございます。

議案書 4 7 ページを御覧ください。

請願番号、請願第 6－6 号。

受付年月日、令和 6 年 7 月 1 7 日。

件名、2025 年度使用開始の中学校公民・育鵬社“教科書”が“愛国心”“君が代敬意表明”等を強制しているのは間違っていると、本市の教職員に周知頂きたい等の請願でございます。

請願者の住所・氏名は記載のとおりでございます。

次ページ 4 8 ページから 4 9 ページまでが請願の要旨でございます。

説明は以上でございます。

[堀川教育長]

請願者より申出がありましたので、請願の事情を述べていただきますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

事務局は請願者を席に案内してください。

それでは、請願者は5分程度で請願の事情を述べてください。

[請願者]

それでは、育鵬社の"教科書"と称している公民のものですが、これは非常に思想性が出ているので、採択のときに、これはまずいということを判断してほしいと思って出しました。

1番のところは、文部科学省が検定での修正過程を含む全内容を、記者クラブにだけ3月に公表して、一般市民には6月になってから、という不公平性を書きましたので、これはちょっと読んでおいてもらえればと思います。

2のところに具体的請願事項がございますが、時間の関係で2-2の裏面のほうから入ります。

育鵬社の"教科書"というのは、「君が代・日の丸」に2ページも使っています。この「敬意を表しなさい」と、2-2のところを見てください。「日の丸・君が代」を敬いなさい」と。特に「君が代」は、主権在民に反する歌、天皇制の時代の存続をうたう歌ですから、そんなものに敬意を表するというのは、私はおかしいと思っています。〔1〕のところですか。今言った主権在民に反するということでございます。

それから、2-3のほうに行きまして、育鵬社は、「国旗・国歌への敬意の表し方」というところの横に「オリンピック表彰式で国旗・国歌を使う」と書いていますが、これはうそですね。東京都教育委員会も、『オリンピック学習読本』というものを6年間税金を多く使って発行して、小中高に使えと言ってきたわけですが、その『オリンピック学習読本』と同じうそをついています。では表彰式で何を使うのかというと、五輪憲章は各国や国以外の地域、台湾とか香港を含めると、そういったものの歌や旗を使うと書いているわけですから、育鵬社と東京都教育委員会はうそをついているということです。

2-4を見てください。またここで、「国家への帰属意識」という言葉を使って、国民一人一人、市民一人一人よりも国のほうが大事だと、国家体制のほうが大事だという考え方を押しつけています。特に「国家との一体感」、私は岸田さんなどと一緒に一体感などは持ちたくないですが、そういうことを言っています。これらは憲法13条の「個人としての尊重」、それから教育基本法の「個人の価値の尊重」に違反しています。

2-5を見てください。また「国旗・国歌に愛着を持て」と育鵬社は言っています。ひどいのは、「政治信条などにかかわらず、国旗・国歌に起立して敬意を表しなさい」。まさにこれは、しかも「君が代」は「心の歌」だなどと言っています。育鵬社というのは本当に、自分たちの思想、八木秀次さんたち日本会議の主義主張を押しつけていると言わざるを得ません。

京都の田花結希子アイリーンさんという方は、6年生のときの卒業式、そして中1になったときの入学式で“君が代”不起立を貫いて、先生たちに“君が代”強制はおかしいということと言った、勇気のある人です。こういう人もいるのに、「政治信条にかかわらず、国旗・国歌に敬意を払え」などと言う育鵬社は、絶対採択すべきではありません。

3年前の憲法記念日に朝日新聞が行った世論調査でも、“君が代”の不起立・不斉唱で処分をするのは「納得できない」というのが65%。東京都教育委員会の方針に65%が反対している。この辺りをしっかりと受け止めてほしい。

2-1に戻ります。東京都教育委員会がどんな悪い本を出しているかというと、都教委は教科書の『調査研究資料』というものを出していますが、これが極めて偏っています。

例えば「権」という言葉、権利の「権」がつく言葉を全部抜き出しています。ということになると、私たちの生存権、それから参政权、こういった権利と、それから国家権力の権限行使である集団的自衛権、交戦権、これを東京都教育委員会は一緒にカウントして、「育鵬社は『権』という言葉をとくさん使っているんですよ。『権』を多く使っている育鵬社を採択しましょう」、このように東京都教育委員会はあおって煽（あお）っているわけです。これは極めて非学問的な東京都教育委員会の『調査研究資料』、こんなものは破り捨ててほしいと思っています。

「義務」のほうでも、育鵬社や自由社は「国防の義務」などと、これは憲法違反ですよ。国のために死ぬわけですから。こういったものをカウントしているんです。普通の三大義務である納税とか、教育を受けさせるとか、ああいう義務ではない、憲法違反の義務までカウントして、それで割とお年寄りの教育委員が多いような地方の教育委員会で「ああ、『義務』をとくさん書いている育鵬社を採択しましょう」と、このように誘導する。これが東京都教育委員会の手口なんです。非常に反学問的な本です。

東京都教育委員会は、神話なども載せて、天照大神や神武天皇が人間だというカウントをしている。これが東京都教育委員会の『調査研究資料』。

傍聴の皆さんも、うちに帰られたら、東京都委員会のホームページを見てください。まさに笑い物になるような有害図書です。

ということで、日野市の採択では、ぜひ参考にしないでということ堀川さんに言いたいと思います。

では、そろそろ終わりますけれども、堀川さん……。

[堀川教育長]

請願者に申し上げます。5分が経過しましたので、説明をまとめてください。

[請願者]

分かりました。メモを取ってくれて、今日は、堀川さん、うれしいです。ぜひ参考にしてくださいね。とにかく民主的な教科書を選んでください。

では、以上です。

[堀川教育長]

この件につきまして、御質問がございましたらお願いいたします。

なければ、御意見を伺います。高木委員。

[高木委員]

本請願は、私自身、不採択と考えます。

その理由についてですけれども、本請願は、2の具体的請願・分析事項として、2－1項から2－5項にわたり、請願者グループで共有する考え方が述べられています。請願書などをよく読ませていただきました。また、ただいまありました請願者自身による説明を伺っても、請願事項そのものや請願事項に関する具体的な背景や理由が理解できないこと。

以上の観点で、本請願は不採択と考えます。

以上です。

[堀川教育長]

ほかに御意見はございませんか。真野委員。

[真野委員]

請願者の説明ありがとうございました。請願内容も、事前にしっかり読ませていただきました。その上で、この請願ですけれども、請願者の考えに基づく一方的な主義主張でありまして、請願を採択するに当たる正当な理由が私は読み取れませんでした。

したがって、私はこの請願は不採択と判断いたしました。

以上です。

[堀川教育長]

ほかに御意見はございませんか。正留委員。

[正留委員]

御説明ありがとうございました。本請願を読ませていただきました。資料も見ました。今回の請願の背景と、請願を実行いただきたいお願いなど及び具体的請願・分析事項の2－1から2－5について読みましたが、本請願は請願者の考えに基づく一方的な主張と論の展開であり、日野市教育委員会が請願を採択すべき理由となるものを捉えることができませんでした。

したがって、不採択と考えます。

[堀川教育長]

ほかに御意見はございませんか。岩下委員。

[岩下委員]

請願及び資料も拝読いたしました。また、今ほど請願者自身による意見陳述も伺いました。ありがとうございました。その上で、本請願は不採択と考えます。

理由としまして、請願者グループで共有する考えに基づき分析した結果の主張であるということは分かりますが、本市教育委員会を取り上げなければならない理由を見いだすことはできませんでした。

以上です。

[堀川教育長]

ほかに御意見はございませんか。

なければ、御質問、御意見はこれにて終結いたします。

委員の皆様のご意見としては、不採択という御意見が多いようですので、2025年度使用開始の中学校公民・育鵬社“教科書”が“愛国心”“君が代敬意表明”等を強制しているのは間違っていると、本市の教職員に周知頂きたい等の請願については、これを不採択

とすることにしたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしとのことですので、請願第6－6号については、不採択とすることに決しました。

協議事項第1号 日野市立中学校教科用図書の選定について、事務局より説明をお願いします。教育部参事。

○協議事項第1号 日野市立中学校教科用図書の選定について

[長崎教育部参事]

教育部参事でございます。協議事項第1号 日野市立中学校教科用図書の選定について、御説明させていただきます。

議案書45ページをお開きください。まず、今年度の採択について、御説明いたします。

今回は、令和7年度から4年間、令和10年度まで使用する中学校教科用図書を採択するものでございます。

今回の採択事務を進めるに当たり、令和6年3月23日の教育委員会定例会において、日野市立学校教科用図書採択要綱を定めているところでございます。

また、令和6年3月29日付で文部科学省初等中等教育局から各都道府県教育委員会宛てに、「令和7年度使用教科書の採択事務処理について」の通知がございました。

日野市におきましては、日野市立学校教科用図書採択要綱とこの文部科学省からの通知に沿って調査研究を行いました。調査項目を5つの観点とし、1、学習指導要領との関連、2、編集上の工夫、3、地域との関連、4、構成・単元の配列、問題解決、課題の発見、5、表記・表現から、全教科書の調査研究を行ってまいりました。

また、指導に当たる教員の意見を酌み取りやすいよう、特記事項の欄を設けております。

次に、今回の採択事務の経過について御説明いたします。

日野市立学校教科用図書採択要綱に基づき、5月に各中学校で教科用図書の調査研究を行いました。5月末には、各中学校から教科ごとに設置した教科委員会に調査研究報告書が提出されました。教科委員会は、委員長及び主幹教諭、主任教諭、教諭等の5～7名で構成され、各学校から提出された調査研究報告書を基に調査研究を行いました。教科委員会は6月3日から6月28日までの期間に開催されました。

続いて、7月10日、12日、16日に教科用図書採択審議会を行いました。この審議会は、校長2名、副校長1名、保護者6名の計9名によって構成されています。審議会では、教科委員長から教科ごとの調査研究した内容の報告があり、教科用図書を実際に読んで確認したり、質問したりするなど、活発な審議が行われました。審議会終了後に審議会長から日野市教育委員会に答申書が提出されました。

教育委員は、7月22日、25日、26日の3日間、各教科委員長に出席いただき、審議会の答申書に基づいた説明をいただきました。

続いて、7月26日、31日、8月6日の計3日間にわたって、教育委員は全ての教科

用図書について調査研究を行いました。調査研究に当たっては、審議会答申書と教科用図書で内容の確認を行いました。

これまでが本日の採択事務の経過でございます。

なお、各者の教科用図書は6月1日から6月30日まで、中央図書館、高幡図書館、中央公民館の3か所で閲覧できるようになっておりました。そして、この3か所には、教科用図書や展示について、お気づきの点を御記入いただくアンケート用紙を置きました。期限までに寄せられた御意見、御感想等は31件になります。教育委員にこれらの御意見、御感想を全てお渡ししており、全ての内容を読み、確認していただいております。

本日の協議事項といたしましては、各教科の教科用図書について御協議をいただき、それぞれ1者を採択候補として選定していただきたいと存じます。

以上で説明を終わります。御協議のほど、よろしくお願いいたします。

〔堀川教育長〕

事務局からの説明が終了しました。

教育委員会は、7月17日に日野市立学校教科用図書採択審議会より、答申を御提出いただきました。その答申書の内容を踏まえ、実際の教科書を基に調査研究を行ってまいりました。それらを通して、本日までに、それぞれの委員がどの教科用図書を採択の候補とすべきか、御判断されたことと思います。

選定の方法について、お諮りいたします。

ただいまからお配りします用紙に、選定の候補としたい発行者を選んでいただき、候補とされた教科用図書について、協議を進めていきたいと思いますが、いかがでしょうか。高木委員。

〔高木委員〕

私から提案がございます。今、教育長がおっしゃったように、本日を迎えるまでに、私どもとしましては、全ての教科書について、いろいろな角度から調査研究を行ってきたところですが、どの教科書もそれぞれの特徴やよさを持っていて、正直なところ、なかなか甲乙つけ難く、1者だけ選ぶのは難しいと感じるところもあると思います。そこで、選定するに当たりましては、従来どおり、1人の持ち点を2点とし、1者に2点をまとめて入れることも、あるいは2者に1点ずつ分けて入れることもよいといった方法を取って、点数を累計して候補教科書を決めてはどうかと思いますが、皆さん、いかがでしょうか。

〔堀川教育長〕

選定の方法について、ただいま高木委員から御提案がございました。皆さん、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

〔堀川教育長〕

異議がないようですので、各委員の持ち点を2点として選定を行ってまいります。

事務局は各委員に用紙を配付してください。そして、各委員の記入が終わりましたら、速やかに集計してください。

（用紙配付、記入）

〔堀川教育長〕

それでは、国語から協議を始めようと思いますが、よろしいでしょうか。

国語の集計結果が出ました。光村図書出版10点となりました。各委員から御意見を承ります。

発言順を、高木委員、真野委員、正留委員、岩下委員、堀川としたいと思います、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

それでは、その順でお願いいたします。高木委員、お願いいたします。

[高木委員]

私は光村図書出版がよいと思います。

その理由についてですけれども、まず1つは、各教材の構成は精選されたものが多く、生徒の主体的な取組により、基礎的・基本的な資質・能力が身につくことが期待できること。

2つ目として、「語彙ブック」、「語彙を豊かに」のコーナー等、教科書全体を通して、各学年の発達段階や教材内容に応じて語彙に関する学習内容が充実していること。

3点目として、各教材ごとに設定されている「学びへの扉」では、学習指導要領で示された内容が実践しやすいように、具体的な学習の流れが明示されていて、生徒が見通しを持ち、意欲が引き出せるように工夫されていること。

4点目として、巻末にある資料集が充実している。具体的には、1年間を通して「学びのカギ」で学んだ事項が分類されて一覧表で整理されている。話したり書いたりするときの手がかりとなるテーマ例が紹介されており、発想を広げることができる。ICT活用のヒントがあり、二次元コード一覧表も整備されているなど、発達段階に応じて活用ができること。

以上により光村図書出版がよいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、真野委員、お願いします。

[真野委員]

私も光村図書出版がよいと思い、2点を入れました。

選定の理由ですが、3点ほど挙げさせていただきたいと思います。

1点目は、学習指導要領にある、科学的・論理的に物事を捉え、考察し、視野を広げる、公正かつ適切に判断する能力や、創造的精神を養う等の観点についてです。一例ではありますが、3年の教材に「故郷」というところがあります。小説を批評する、批判的に読むとの視点を捉え、読みを深め、自分の考えを持ち、さらに友達の批評と自分の捉え方との共通点や相違点などを基に考えを深める活動ができるという組立てになっており、まさに生徒一人一人が、自ら学び、お互いから学ぶことができる教材になっていると思います。

2点目ですが、学習指導要領にある、古典、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通し、古典の世界を楽しむという観点です。こちらも一例ではありますが、3年の教材に、「おくのほそ道」というところでは、「おくのほそ道」俳句地図や古典名作選を掲載するな

ど、古典の世界を楽しむことに重きを置いた取組となっています。

3点目は、各教科書の冒頭に、言葉を味わうという企画があります。言葉の豊かさ、美しさに触れるよい機会は、自らわくわく感を持って学びを広げていくことにつながるのではないかと、そのように考えました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、正留委員、お願いします。

[正留委員]

私も光村図書がよいと思います。2点入れました。

教材が適切であり、自分の考えを深める学びを大切にした教科書だと思います。学習の見通しを持ち、主体的な学びを進めるために取り組む方法が具体的に示してあり、各教材の冒頭には目標があり、学習活動を把握しやすく、本文下段には、新しい漢字や注意する語句、関連する学習など、適切に示してあり、学びやすい構成だと思います。

「学びへの扉」がありますが、各教材の冒頭で学習活動と目標を捉え、見通しを持ち、本文に進み、それぞれの学習活動の捉える、読み深める、考えを持つなどのステップは、具体的に学習活動の内容が示してあり、目的を捉えやすく、学びを的確に進められると思います。

また、「学びのカギ」と連動し、学習のポイントが分かりやすく、さらに振り返りの活動が設定され、生徒が学びの自己確認ができるように構成されています。この学習の流れが主体的な学びの育成として適切であると考えます。

また、「語彙ブック」や巻末の資料編も、生徒が有効に活用できるものだと思います。

写真やイラストも分かりやすく適切で、ページ配色、配置、構成がよいと思います。デジタルコンテンツとの連携もよく図られていると思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、岩下委員、お願いします。

[岩下委員]

光村図書出版に2票投じました。理由を申し述べます。

導入ページで、学習の見通しとして、知識・技能、思考・判断・表現、他教科関連、SDGs 関連を表で示し、思考ツールもその目的別に紹介しており、丁寧で分かりやすい。

章の初めの扉で「読む」、「書く」、「話す」、「聞く」のマークを題材に表示し、題材タイトル下に記された目標と題材末の「学びへの扉」が呼応しており、考えをまとめやすい。

「学びのカギ」では、次のカギが何ページに設定されているか、タグで認識することができ、またステップの囲みの左に、見通しを持って取り組むために、「捉える」、「読み深める」、「考えを持つ」、「振り返る」などの学習の実践の流れが示されており、取り組みやすい。

各学年に「聴き浸る」という項目が設けられ、QRコンテンツで朗読を聴くことができ、とても趣がある。

2年巻末で、手紙・メールの書き方、著作物の引用の仕方などを掲載しており、学びの

広がりがある。「平家物語」の章では、見開き観音で合戦の絵画や地図などを採用しており、迫力があり、興味を持って取り組む工夫がされている。

各学年に「語彙ブック」が設けられ、表現するときに必要な言葉を3年分の当学年分として掲載している。

3年次、表紙扉の詩「世界はうつくしいと」の一節「会話は貧しくなった」につながっている。

ぜひ、日本語の豊かな美しい表現を習得してほしいと思っております。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、私、堀川からも意見を申し上げます。

国語については、言語活動を通して国語で正確に理解し、適切に表現をする資質・能力を育成することにつながるか、特に言葉の理解を深めるとともに、実際に人と人との関わりの中で学んだことを生かすことにつながるかとの観点を重視して評価を行いました。また、国語にかかわらず、全ての教科等に共通するものでありますけれども、第4次日野市学校教育基本構想に掲げられている「インクルージョン」、「学びの羅針盤・創造」、「対話・協働」という姿につながるか、「探究的で深い学び」の実現につながるかという観点で評価を行いました。その上で、国語については、光村図書出版に2票を投じました。

ポイントとしては、学習の目標や流れ、ポイントを分かりやすく明確に示しており、学習者が見通しを持ち、言葉という道具を使いこなす力を生徒一人一人が身につけるための工夫がちりばめられていること、生徒が対話を通じて学びを深めたり、興味・関心に応じて学習を深めたりする工夫に加え、3観点での学習者による振り返りの観定の明確化など、学習者と授業者に寄り添う工夫が豊富になされていることを評価いたしました。

以上でございます。

ほかに発言漏れ、追加はございませんか。

なければ、御意見はこれにて終結いたします。

国語は、集計の結果、点数が10点と最も高かった光村図書出版を採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしとのことですので、国語については、光村図書出版を採択候補といたします。

それでは、次は書写でございます。書写については、光村図書出版10点となりました。

各委員から御意見を承ります。高木委員、お願いします。

[高木委員]

私は光村図書出版がよいと思います。

その理由についてですが、1つには、各教材は「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」の構成で、生徒に学習の進め方や学び方が分かりやすく説明されていること、また各教材には「学びのカギ」が設けられ、書写のポイントが示されていて、理解が進むこと。

2点目として、毛筆の筆使いでは、実際の筆の運びを、始筆・送筆・終筆の各段階を写真や「トン・スー・トン」などのオノマトペで表すなど、生徒が理解しやすい書き方で明

確に示されていること。

3点目として、別冊の「書写ブック」が付属しており、毛筆で学んだことを硬筆に生かすための練習教材が多く用意されていること。

以上の理由により、光村図書出版がよいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、真野委員、お願いします。

[真野委員]

私も光村図書出版がよいと思い、2点を入れました。

選定理由ですが、2点ほど挙げさせていただきたいと思います。

最初の1点目ですが、生徒に届きやすい、丁寧な内容になっているという点です。一例ではありますが、毛筆では、筆先の力の入れ方、具体的な筆の折れ曲がりという写真を通して理解を深めることができる内容になっています。この点、第4次日野市学校教育基本構想にある、生徒一人一人が当事者として、自分事として捉えることができるということに通じると思います。

2点目です。学習指導要領にある書写の能力を学習や生活に役立てるという視点です。この点では、別冊の「書写ブック」は、毛筆で学んだことを硬筆に生かし、繰り返し学ぶことで書く力を身につけることができ、ほかの教科にも活用できます。また、「日常に役立つ書式」という章では、書写で学んだことを生活に役立てるという視点でまとめられています。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、正留委員、お願いします。

[正留委員]

私も光村図書がよいと思います。2点入れました。

生徒が何を学ぶかを考え、工夫することを大切にした教科書だと思います。

巻頭の「中学書写スタートブック」では、小学校の振り返りと、姿勢や用具の使い方など、丁寧に示してあります。

学習の進め方は、目標の示しがあり、「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」の活動の流れとなっており、課題を捉え、考え工夫する学び方が分かりやすい構成だと思います。

また、別冊の「書写ブック」の活用は、効果的な学習につながると考えます。

また、「学びのカギ」のところでは、学習のポイントが分かりやすく、学びの視点が取れやすくよいと思います。

各ページの写真やイラストの構成がよく、分かりやすいと思います。行書の筆使いなどのイラストと写真の組合せなどは丁寧で、よく工夫されており、生徒にとって理解しやすいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、岩下委員、お願いします。

[岩下委員]

光村図書出版に2票投じました。

まず、1年の初めでは、楷書の筆使いを点画ごとにおさらいし、文字の歴史を整理してから行書へ導入していて分かりやすい点、楷書と行書の筆使いのQR動画コンテンツは、朱墨で穂先の跡が分かりやすい、かつ教科書に書かれている「ぴょん」、「びたっ」が表す事象を理解しやすくなっていました。

B判で縦に置くことで、ほぼ原寸大の手本となる点も評価しました。

また、ユニバーサルデザイン、フォントなども学習し、書写の学びを生活に生かす視点では、巻末の「日常に役立つ書式」というところでメールなどの通信文についても触れており、身につけてほしい内容である。

また、硬筆のワークブック「書写ブック」が別冊になっており、紙質も鉛筆に適しており、集中して硬筆に取り組むことができる点を評価いたしました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、私、堀川からも意見を申し上げます。

書写については、知識・技能の習得のみならず、学んだことを学習や生活に役立てることにつながるかとの観点を重視し、評価を行いました。その上で、光村図書出版に2票を投じさせていただきました。

ポイントとして、なぜ書写を学ぶ必要があるのかを含め、身近な題材等から生徒の興味・関心を引き出し、学びに向かうことのできる工夫、生徒が見通しを持って学習を進められる構成の工夫、運筆の表現など、生徒が分かりやすく学ぶことのできる工夫がされていることを評価いたしました。

以上です。

ほかに発言漏れ、追加はございませんか。

なければ、御意見はこれにて終結いたします。

書写は、集計の結果、点数が10点と最も高かった光村図書出版を採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしとのことですので、書写については、光村図書出版を採択候補といたします。

それでは、次は社会（地理的分野）でございます。社会（地理的分野）については、帝国書院10点となりました。各委員から御意見を承ります。

それでは、高木委員、お願いします。

[高木委員]

私は帝国書院がよいと思いました。

その理由についてですけれども、1つには、教科書の巻頭で、よりよい社会を目指して、地理的分野の学習の全体像や学ぶ意義、地理的な見方・考え方が丁寧に整理されており、持続可能な社会の実現に向けてのつくり手となることへの学習が期待できること。

2点目として、各章や節ごとに問いが設けられていて、それらが各単元の学習課題につ

ながっており、段階的に探究することで、各単元・節・章の各問いの解決に結びつく「主体的な学び」ができる構成になっていること。

3点目として、各単元が見開き2ページで構成されており、初めに学習課題が示され、単元の終わりに「確認しよう」、「説明しよう」が設けられていて、生徒の知識・技能や思考力・判断力・表現力の育成が期待できること。

4点目として、「技能をみがく」や「地理プラス」等の地理の基礎的な技能・知識が学べる数多くのコラムが随所に用意されており、生徒の興味や関心、学習意欲の向上につながる。また、「アクティブ地理AL」等のページ・コラムなどでは、「主体的・対話的で深い学び」ができること。

以上により帝国書院がよいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、真野委員、お願いします。

[真野委員]

私も帝国書院がよいと思い、2点入れさせていただきました。

選定理由を大きく2点、挙げさせていただきます。

1点目は、学習指導要領にある、地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察し、説明、議論する力という視点です。一例ですが、日本の各地域を学ぶ教材では、九州地方を例に挙げますと、最初に九州地方の鳥瞰図があり、各地の自然環境や生活文化、そして産業との関係性に気づくことができます。また、小学校で学んだことを振り返ることもできます。次に、写真を掲載、地図上でその位置を確認することもできます。その上で、各地の自然環境や生活文化、産業などを細かく学ぶ、最後に振り返るという流れであり、多面的・多角的に学びやすい教材になっていると思います。特に、鳥瞰図を通して、自らの気づきや疑問点などが生まれやすく、その問いが学びを深めてくれると思います。第4次日野市学校教育基本構想にある、生徒一人一人が当事者として、自分事として捉えることができるということにも通じると思います。

2点目は、「主体的で対話的で深い学び」という視点です。「アクティブ地理AL」コーナーでは、答えが一つでないという課題について、地理的な見方・考え方を働かせ、自分の意見をまとめたり、他者と意見を交換しながら学びを深めることができるという内容になっていると思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、正留委員、お願いします。

[正留委員]

私も帝国書院がいいと思います。2点入れました。

様々な視点を持ち、深い学びにつながるよう、生徒の気づきを大切にした教科書だと思います。

巻頭に、環境についてと、この教科書を活用した学び方が詳しく載せられていて、学びの見通しが持ちやすいと思います。単元を通した学び方や毎時の学び方について、分かり

やすく説明してあり、学習活動の流れが把握しやすいと思います。

特設ページ、コラムの活用、QRコンテンツについては、その活用についての説明が丁寧に示されており、よいと思います。

また、地理的分野で学ぶことの意義が示され、位置や分布、場所、人間と自然の関わり、他の地域との結びつき、地域の特徴などの視点について、地理的な見方・考え方が丁寧に示されており、具体的な学習活動につながると思います。

それぞれの地域を様々な視点を持ち、学習し、捉えた課題について理解を深めることを大切にしたい学びが構成されている点がいいと思います。

毎時間の学習の構成は、学びの流れが適切で、学習活動が焦点化され、課題を持ち、学習が進むようになっている点がいいと思います。

写真、イラスト、図は、適切に配置され、色合いも鮮明で分かりやすいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、岩下委員、お願いします。

[岩下委員]

帝国書院に2点を投じました。

理由についてですが、巻頭導入ページで地理的な見方・考え方、思考ツール、地図帳を活用した学び方を紹介しており、とても丁寧であること、SDGsについて「未来に向けて」のページでも関連づけて学ぶことができること。

章の初めの扉ページでは「ねらい」を明示し、導入から振り返りまでの流れが掲載されており、見通しを持って学ぶことができること。

一節が見開きで構成され、学習課題に対して「確認しよう」、「説明しよう」を設け、言語化による学習の定着を図っている点。

地域を学ぶ際に、見開きページでその地域の写真や文化、地図などが展開され、迫力があり、また、その地域の学習を見通そうとして課題を提示しており、興味を持って取り組む工夫がされている点。

「学習を振り返ろう」のページでは、3観点別の質問があり、自己評価もすることで、次のステップへの動機づけを行える点。

「アクティブ地理AL」では、自分の考えを持ち、また、対話により様々な考えがあることを理解し、振り返ることで、学びを深めることができる点を評価いたしました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、私、堀川からも意見を申し上げます。

地理については、地理的な見方・考え方を働かせた課題の追究や解決の活動を通じて、社会的事象の意味や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、理解を深めたりすることにつながるかとの観点を重視して評価をいたしました。その上で、帝国書院に2票を投じました。

ポイントとして、単元ごと、時間ごとの課題設定から振り返りまでの見通しを持ち、見方・考え方を生かして主体的に学ぶことのできる工夫がされていること、まとめる、表現

する活動が随所にちりばめられており、ポイントごとに課題解決型学習の設定がされているなど、構成のバランスがよいことを評価いたしました。

以上でございます。

ほかに発言漏れ、追加はございませんか。

なければ、御意見はこれにて終結いたします。

社会（地理的分野）は、集計の結果、点数が10点と最も高かった帝国書院を採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

〔堀川教育長〕

異議なしとのことですので、社会（地理的分野）については、帝国書院を採択候補いたします。

それでは、次は社会（歴史的分野）でございます。社会（歴史的分野）については、帝国書院9点、東京書籍1点となりました。各委員からの御意見を承ります。

まず、高木委員、お願いします。

〔高木委員〕

私は帝国書院がよいと思ひまして、2点入れました。

その理由についてですけれども、1つには、教科書の巻頭で、よりよい社会を目指し、歴史的分野の学習の全体像や学ぶ意味、歴史的な見方・考え方などが丁寧に整理されており、持続可能な社会の実現に向けての創り手となることへの学習が期待できること。

2つ目として、各章や節ごとに問いが設けられていて、それらが各単元の学習課題につながっており、段階的に探究することで各単元・節・章の各問いの解決に結びつく「主体的な学び」ができる構成になっていること。

3点目として、各単元が見開き2ページで構成されており、初めに学習課題が示され、単元の終わりに「確認しよう」、「説明しよう」が設けられていて、生徒の知識・技能や思考力・判断力・表現力の育成が期待できること。

4点目として、イラスト図、「タイムトラベル」が全体として11か所に設けられており、社会や暮らし、経済、文化などの各時代の特色が象徴的に描かれていて、社会的な事象を多面的・多角的に考え、学習できる工夫がされていること、また「社会とのつながりを考えよう 地図編・イラスト編」での設問により、興味や関心を引き出し、主体的・対話的な学習ができること。

5点目として、SDGs関連や歴史の基礎的な技能・知識が学べる数多くのコラムが用意されていて、学習意欲の向上につながること。

以上により帝国書院がよいと思ひます。

以上です。

〔堀川教育長〕

それでは、真野委員、お願いします。

〔真野委員〕

私は帝国書院がよいと思ひ、2点入れさせていただきました。

選定理由は2点ほど挙げさせていただきます。

1点目ですが、学習指導要領の、社会的事象を時期や推移等に着目して捉え、類似や差異等を明確にし、事象同士を因果関係など関連づける見方・考え方を働かせるという視点です。この視点で注目したのは、各年代の冒頭にある「タイムトラベル」の内容です。例えば、縄文時代・弥生時代の様子を描いた絵を見開きで並べ、その比較ポイントや共通点など、自ら気づき、生徒同士で学び合うことができる内容になっています。また、各時代を俯瞰して学ぶことから入っているため、断片的な史実を俯瞰図を通して関連づけることもできます。また、小学校で学んだことの振り返りにも活用できると思います。歴史が苦手な生徒にも、歴史を身近に感じてもらうことができるのではないかと思います。第四次日野市学校教育基本構想にある、生徒一人一人が当事者として、自分事として捉えることができるという視点に通じるものと思います。

2点目は、学習指導要領にある、各時代の文化について、代表的事例を取り上げて、その特色を考察するという視点です。「歴史を探ろう」というコーナーでは、具体例を通じて学びを深める内容になっていると思います。一例ですが、江戸はリサイクル都市、あるいは住民と開拓が進む北海道、また「絹の道」と日本の製糸業などのコーナーがあります。特に八王子から横浜へ続く「絹の道」について、富岡製糸場と関連づけて紹介しています。この点では、日野市にある旧蚕糸試験場が登録有形文化財に登録されるなど、身近な歴史ともつながるテーマではないかと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、正留委員、お願いします。

[正留委員]

私は帝国書院がいいと思います。2点入れました。

「なぜだろう」を大切にし、様々な考え方をもち、学びを広げられる教科書であると思います。

巻頭で、教科書を活用した学び方、歴史的分野の学習の全体像、歴史的な見方・考え方、それらを整理する方法が示され、また様々な思考ツールを活用し、学びを深めるための説明が丁寧にしてある点が、理解しやすく、いいと思いました。

また、導入資料の「タイムトラベル」のイラスト資料、イラスト地図は、視覚的に把握でき、生徒たちの意欲・関心につながる効果的な資料であると思います。また、歴史の流れと時代、歴史の調べ方、まとめ方、発表の仕方など、学習活動について具体的に分かりやすく示しており、章の問い、節の問い、導入資料での学びの見通しが図られ、学習活動が適切に構成されていると思います。本文の末には「確認しよう」、「説明しよう」があり、学びの振り返りで定着と深い学びにつながると 생각합니다。特設ページ、コラムなどでは、学習を振り返る「タイムトラベル」、「世界とのつながりを考えよう」、「歴史を探ろう」、「歴史 Plus」、人物コラム、解説地域史、「技能をみがく」、「アクティブ歴史」、未来についてなど、資料や様々な学習活動を導く仕掛けが多くあり、課題解決的学習の学びにつながると考えます。写真、イラスト、図は、適切で分かりやすく、提示の仕方・構成は分かりやすく、色使いもいいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、岩下委員、お願いします。

[岩下委員]

帝国書院に2点投じました。

理由としまして、表紙扉でSDGsについて触れており、その後も随所で、「未来に向けて」のページでSDGsについて取り上げている。

巻頭ページで、教科書の使い方、単元、毎時の学び方、歴史的な見方・考え方として、時期や年代、推移、比較、相互の関連という項目を丁寧に説明し、思考ツールの紹介もしている。歴史的な見方・考え方については、随所に囲みで表示され、学習を進める上での気づきのヒントになる。第1章では、既習事項を基に、巻頭ページで紹介した学習の仕方を実践してみるという丁寧な作りである。

章の初めの扉ページで、既習事項、各節での学びの狙いの確認や学習前の予想をしてから学習を進めるので、予想と学習内容の振り返りに生かせる点。

各節ごとに「確認しよう」、「説明しよう」が設けられ、言語化による学びの定着を図れる点。

「タイムトラベル」のページでは、その時代の象徴的な事柄をクイズ形式にしており、興味を持って取り組む工夫がされている点。

章の初めの問いは「学習を振り返ろう」と呼応しており、また章末では3観点ごとの設問が用意されています。

また、対話や思考ツールを使う場面も設けられており、深い学びにつながる点、「アクティブ歴史AL」では、答えが一つではない課題設定で、学習者の気づきや対話に焦点が当てられている点、巻末にもSDGsページがあり、歴史的災害と防災について知識を深めることができる点などから、帝国書院を評価いたしました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、私、堀川からも意見を申し上げます。

歴史については、歴史的な見方・考え方を働かせた課題の追究や解決の活動を通じて、歴史的事象の意味や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、理解を深めたりすることにつながるかとの観点を重視して評価を行いました。その上で、帝国書院に1点、東京書籍に1点を投じました。

まず、帝国書院については、単元ごと、時間ごとの見通しを持ち、見方・考え方を生かして主体的に学ぶことができるよう工夫がされていること、興味・関心を引き出す工夫やパフォーマンス課題を通じて歴史的事象を多面的・多角的に考察させるなど、構成のバランスがよいことを評価いたしました。

次に、東京書籍については、学びを進める中で学び方を学んでいく工夫、歴史で学んだことを総合的な学習の時間や他教科で生かせるような工夫がされていること、特に探究課題については、学習の中での位置づけ方が工夫されており、いわゆるビッグアイデアを中心に単元のまとめを行うなど、探究的に学びを進める工夫がなされていることを評価いたしました。

以上でございます。

ほかに発言漏れ、追加はございませんか。

なければ、御意見はこれにて終結いたします。

社会（歴史的分野）については、集計の結果、点数が9点と最も高かった帝国書院を採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

[堀川教育長]

異議なしとのことですので、社会（歴史的分野）については、帝国書院を採択候補いたします。

それでは、次は社会（公民的分野）でございます。

社会（公民的分野）については、帝国書院7点、教育出版2点、東京書籍1点となりました。各委員からの御意見を承ります。

まず、高木委員、お願いします。

[高木委員]

私は教育出版がよいと思います。2点入れました。

その理由についてですけれども、1つには、教科書の巻頭で「公民の学習を始めるにあたって」では、「私たちはどのようにして持続可能な未来を築ことができるだろうか」という大きな問いへの答えを一緒に探していきましょう」との呼びかけとともに、SDGsと本質的な問いや、公民が社会科学習の集大成であり、持続可能な未来の在り方について考えを深めるように学習を進めていこうと、公民的分野で学ぶ意味や意義を丁寧に説明していること、続く「公民にアプローチ」のコーナーでは、メディア活用とプレゼンテーションの具体的な進め方について、ステップを踏んで解説されていること。

2つ目として、教科書全体が7つの章で構成されていますが、各章の終わりに「次章の学習に向けて」があり、その中では、これまで学んだことを踏まえて、ある意見に対する考えの問いかけがあり、学習のつながりが意識できること。また、各章の初めには、学習の見通しが整理され、「ウォームアップ！公民」では、これからの学習内容に関連した問いが設けられ、章末のまとめで、再度同じ問いに対する考え方を整理し比較することで探究的な学習ができることなど、学習の進め方やまとめの構成も工夫されていること。

3つ目として、第2章「個人を尊重する日本国憲法」では、テーマを「なぜ個人を尊重することが大切なのだろうか」とし、人権の考え方の歴史から説き起こし、基本的人権の尊重についての平等権、自由権、社会権など、そして平和主義についての本文が非常に丁寧に記述され、充実していて、各単元の学習課題やまとめの確認表現も練られた設問で構成されていること。

4点目として、学習コラムとして「公民の窓」、「公民の技」などが数多く設けられ、興味や関心が広まり、身につけたい技能や表現力を養うことが期待できること。

以上により教育出版がよいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、真野委員、お願いします。

[真野委員]

私は帝国書院がよいと思い、2点入れさせていただきました。

選定理由ですが、2点ほど挙げさせていただきます。

1点目ですが、学習指導要領にある、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うという視点です。各単元の導入部では、イラストを通し、各単元の学習内容に対する問題意識や興味・関心を高める入り方をされていて、その振り返りにもそのイラストを活用しています。政治や経済は自分と直接関わりがないものとならないようにすることは、第4次日野市学校教育基本構想にある、生徒一人一人が当事者として、自分事として捉えることができるという視点につながるものと思います。

2点目ですが、「アクティブ公民AL」というコーナーです。「主体的・対話的で深い学び」に結びつくよう、具体的なテーマを設定して、現代社会の見方・考え方を働かせ、自分の意見をまとめたり、他者と意見を交換しながら学びを深めることができる内容になっている点です。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、正留委員、お願いします。

[正留委員]

私は帝国書院がいいと思います。2点入れました。

自分だったらどうするのかの考えを持った学びを大切にしたい教科書だと思います。

巻頭で、教科書を活用した学び方、公民的分野の学習の全体像、現代社会の見方・考え方を整理する学習方法が示されており、学習の構成の理解・把握によいと思います。

現代社会、政治経済、国際、それぞれの分野での見方・考え方が具体的に示され、学びの焦点化が図られており、分かりやすいと思います。

章の問い、節の問いや導入資料などが適切で、現代社会を様々な角度から捉えさせ、自分自身がどうあるべきかを考えさせる学びの視点がよいと思います。主体的な学びの育成と学びの見通しが図られており、学習の構成がよいと思います。

本文は、基本、見開きで使いやすいと思います。学習課題の示しがあり、キャラクターからのアドバイスが適宜示され、「確認しよう」、「説明しよう」は、学習の定着の確認や、自分なりにまとめ表現するなどの学びの振り返りとして、「深い学び」につながり、適切であると思います。

5部では、課題探究学習として、自分でテーマを設定して探究学習を進めるようになっており、自分の考えを論述したり、他者の考えを理解し、統合し、考えを深めるなどの探究学習の手だてが丁寧に示してあり、探究的学びの育成が図られる構成となっており、よいと思います。

写真、図、イラストが良質で分かりやすく、ページのレイアウトも適切で、色合いもよいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、岩下委員、お願いします。

[岩下委員]

帝国書院に2票投じました。理由を申し述べます。

表紙扉、巻末でSDGsについて触れ、公民の学習と関連づけており、巻末の「未来に向けて」では、防災・減災について関連づけており、自分事としての学びにつながる点。

導入ページで、公民的学習の全体像や現代社会の見方・考え方、思考ツールなどを丁寧に説明しており、分かりやすい点。

一節は見開きで完結しており、節の学習課題は「確認しよう」、「説明しよう」と呼応しており、言語化により学びの定着を図ることができる点。

章ごとに「学習を振り返ろう」では、3観点ごとの設問が用意されており、振り返ることができる点。

「アクティブ公民AL」では、学習課題に対して対話的・協働的な活動が設定されており、様々な意見からの気づきをもって自分の考えをまとめるよう工夫がなされており、「深い学び」につながる点。

「18歳への準備」として、差別、メディアリテラシー、契約、ライフプランから金融を考えるとというページを設け、自分事として社会生活について考えることができる点。

以上の観点から帝国書院を評価いたしました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、私、堀川からも意見を申し上げます。

公民については、課題を追究したり解決したりする活動を通じて、現代の社会的事象の意味や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、理解を深めたりすることにつながるかとの観点を重視して評価をいたしました。その上で、帝国書院に1点、東京書籍に1点を投じました。

帝国書院については、単元ごと、時間ごとの見通しを持ち、見方・考え方を生かして主体的に学ぶことができるよう工夫がされていること、地理・歴史など他分野との関係を意識して学ぶことができる工夫がされていること、総括的な課題探究学習に向け、単元のまとまりごとに学習課題や探究テーマを考える活動が位置づけられており、構成のバランスがよいことを評価いたしました。

また、東京書籍については、ポイントとして、学びを進める中での学び方を学ぶ工夫がされていること、特に探究課題について、学習の中での位置づけ方が工夫されており、探究的に学びを進める工夫がされていることを評価いたしました。

以上でございます。

ほかに発言漏れ、追加はございませんか。

なければ、御意見はこれにて終結いたします。

社会（公民的分野）については、集計の結果、点数が7点と最も高かった帝国書院を採択候補として選定したいと思います。いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

[堀川教育長]

異議なしとのことですので、社会（公民的分野）については、帝国書院を採択候補とい

たします。

それでは、次は地図でございます。地図については、帝国書院10点となりました。各委員から御意見を承ります。

高木委員、お願いします。

[高木委員]

私は帝国書院がよいと思います。

その理由についてですが、1つには、地図帳の巻頭で「地図帳の使い方」の項では、地図に関する基本的な見方・使い方が丁寧に説明されていて、使いやすいこと。また「地図で考える持続可能な社会」の項では、SDGs、環境問題、脱炭素、食料問題、紛争などについて、地図や写真で状況が示されており、生徒の興味や関心を引き出せること。

2つ目として、地図帳全体で156問の問いコーナー「地図で発見！」があり、地図を基に確認したり、探究したり、学習の広がりが見込めること。

3点目として、日本の領土について、領海・領空や排他的経済水域などと併せて明確に示されていて、理解がしやすいこと。

以上により帝国書院がよいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、真野委員、お願いします。

[真野委員]

私も帝国書院がよいと思い、2点入れさせていただきました。

選定理由を3点ほど述べたいと思います。

1点目は、学習指導要領にある、観察や調査の結果をまとめる際には、地図や諸資料を有効に活用して事象を説明したり、自分の解釈を加えて論述したり、意見交換したりするという視点です。世界の各大陸ごとにイラスト入りで描いた鳥瞰図を見ると、各地の自然環境や生活文化との関係性に気づくことができます。また、日本地図では、各地の産業や特産物を表示し、また、地形と歴史、防災の地図では、より実感できる地形の描写を通し、歴史や防災の視点で見ることができ、自らの学びを深めたり、生徒同士の問いを通して学びを広げることができると感じました。

2点目ですが、地理の教科書と同じ発行者を選定することにより、地図やイラストに共通性があり、活用しやすいという視点です。

3点目は、地図が大きく、また見やすい文字や色使いであるという点を評価しました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、正留委員、お願いします。

[正留委員]

私も帝国書院がよいと思います。2点入れました。

生徒にとって分かりやすく、様々な視点を持ち、活用できる地図帳だと思います。地図帳の活用方法の説明が理解しやすく、地図の種類や地図帳の見方・使い方、「地図帳を使いこなそう」、また地図の見方、読み解くポイント、「テーマを決めて地図から読み取ろう」、

「SDGsを地図帳を通して考える」などの活用が丁寧に載せられ、分かりやすいと思います。また、各單元には主題学習が示され、「地図で発見！」のコーナーは、様々な問いが基礎的内容や発展的内容で示され、「深い学び」や「主体的な学び」につながると考えます。それぞれの地域の鳥瞰図、土地利用・活用、特色についての表示や事柄の地図、気温と降水、言語と民族、また歴史が分かる資料や関連した表示、イラスト地図など、その地域の事柄が分かりやすい方法で示されていると思います。また、他の教科での活用が図られると思います。

写真、イラスト、図解資料など、よく工夫され、適切で分かりやすく、レイアウトや色合いもよいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、岩下委員、お願いします。

[岩下委員]

帝国書院に2票投じました。理由を申し述べます。

導入で、地図帳の使い方として、小学校での既習事項の確認、地図の種類、「地図帳を使いこなそう」として、索引や統計の見方を紹介、続いてSDGsについて7ページにわたり、様々な主題図やデータ、写真とともに紹介し、学習課題を設けており、学習者が自分事として引き寄せやすい工夫がされている点。

世界の気候では、地中海式気候の雨温図にローマを採用し、ほかの地域も含め、象徴的なその地域の写真とともに掲載しており、理解しやすい。また、日本の気候では、日本海側の都市の雨温図に降雪量の多い上越を採用しており、ほかの都市との比較がしやすく、理解しやすい。

世界の地図の資料編では、「日本との結びつき」という囲みを設け、関連づけて学ぶことができる点。

地図の資料ページには随所に写真や図が挿入されており、江戸～大坂間の所要時間の变化など、興味を引く資料が用意されており、また他教科との関連はマークで表記されており、分かりやすい。

以上のような点から帝国書院を評価いたしました。

[堀川教育長]

それでは、私、堀川からも意見を申し上げます。

地図については、地図資料を活用して情報を収集し、整理をしたり分析をしたりする学習を進めていく上で、率直に、使いやすいかという観点を重視して評価をいたしました。その上で、帝国書院に2票を投じました。

ポイントとして、地図や統計資料を含め、色合いや構成を含めて、見やすく使いやすいと考えられること、地図と地理、歴史、公民など、他の分野とのつながりを意識して学べる工夫がされていることを評価いたしました。

以上です。

ほかに発言漏れ、追加はございませんか。

なければ、御意見はこれにて終結いたします。

地図は、集計の結果、点数が10点と最も高かった帝国書院を採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

[堀川教育長]

異議なしとのことですので、地図については、帝国書院を採択候補といたします。

それでは、次は数学でございます。

数学については、教育出版10点となりました。各委員から御意見を承ります。

高木委員、お願いします。

[高木委員]

私は教育出版がよいと思います。

その理由についてですけれども、1つには、新しい章に入る前に、これまでに学習した事項を復習、確認するページが設けられ、学習のつながりが意識しやすい構成になっていること。

2点目として、各章の冒頭で写真とコメントで、これからの学習内容について、社会と数学との関係についての問いかけがあり、生徒の興味や関心を引き出していること。章の導入では「Let's Try」があり、生徒のコメントもあって、今後の学習に入りやすい工夫がされていること。

3点目として、各章の課題解決型の問題では、学びのプロセスとして、問題を見いだすことから6段階のステップで学習の進め方の具体例が示されており、「主体的・対話的で深い学び」が実践できるように工夫されていること。

4点目として、コラムとして「数学の広場」が設けられており、学習内容を深めたり広げたり、日常生活や他教科との関わりを併せて学習できる工夫がされていること。

以上により教育出版がよいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、真野委員、お願いします。

[真野委員]

私は教育出版がよいと思い、2点入れさせていただきました。

選定理由を2点ほど挙げさせていただきます。

1点目ですが、学習指導要領にある、数学的活動を楽しめるようにするとともに、数学を学習することの意義や、数学の必要性などを実感するという視点です。この点に関しては、各章の頭に、これから学ぶ章の意義や必要性を感じる内容が書かれています。一例ではありますが、整数の見方では、素数ゼミのことが取り上げられています。また、章末では、最小公倍数を学んだことを振り返り、素数ゼミと関連づけています。このように、数学を学ぶ意味を持たせることにより、数学への関心度がさらに高まることに期待しています。また、「数学仕事人」という企画では、数学の必要性を感じてもらえるという内容になっていると思います。

2点目です。学習指導要領にある、数学を活用して問題解決する方法を理解するとともに、自ら問題を見だし、解決するための構想を立て、実践し、その過程や結果を評価、

改善するという視点です。問題を見いだそう、自分の考えを持とう、友達の考えを知ろう、みんなで話し合おう、振り返ろう、深めようなどのプロセスを意識できるよう丁寧に書かれています。「なるほど、分かった」という数学の楽しさを感じてもらえるのではないかと。第4次日野市学校教育基本構想にある、自分に合った多様な学びと学び方の選択や、探究的で深い学びを支える姿に通じるものと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、正留委員、お願いします。

[正留委員]

私は教育出版がいいと思います。2点入れました。

問題をしっかり捉え、見通しを立て、問題を解決につなげるプロセスを丁寧に進めている教科書だと思います。各学年とも、冒頭に教科書の使い方があり、学びの流れが分かりやすく示され、学習活動のポイントが具体的に説明され、見通しを持ち、取り組めるようになっていて、いいと思います。

また、主体的に取り組む内容と活動の流れの構成が適切であると思います。「はてな」や「なるほど」、「だったら」などをキーワードとして、学びのプロセスを丁寧に説明して、分かりやすく、またそれらが適切に設定され、学びの流れを支え、深まりにつながっていると思います。

また、具体的な問題を使い、様々な見方・考え方・表現を示し、学習活動での活動が図られるようにしており、いいと思います。

本文のキャラクターの説明や問いかけが効果的に構成され、学習活動を支える要素となっていて、いいと思います。

それぞれの章の導入での「Let's Try」は、課題を捉えるものとなっており、「学習のまとめ」、「確かめよう」などでは、振り返りが丁寧で、学習内容の定着が図られ、適切だと思います。

図やイラストは分かりやすく見やすい色使いであり、レイアウトもいいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、岩下委員、お願いします。

[岩下委員]

教育出版に2点入れました。

導入部分で数学的なものの見方・考え方を示しており、教科書内でもそれぞれ登場人物が話す吹き出しでヒントを出し、気づきを促しています。また、教科書の使い方、学びリンク、既習事項の確認から章に進んでおり、丁寧です。

章の初めに「Let's Try」として、数学とほかの事象を結びつけた設問があり、章の終わりに「数学の広場」として解説しています。学んだことの活用についてもページを設けており、数学だけではない広がりがあります。

学習を進める上でつまづきそうになる箇所を押さえ、先ほどの数学の見方・考え方のヒントのほか、どのページに戻ればいいのかや、逆に補充問題はどこにあるかなどがナビされ

ていて、とても丁寧です。補充問題には実力アップ問題が設けられ、個別最適の学習ができ、と思います。次年度あるいは高校での発展については、随所に見られ、理解度に応じ、取り組むことができ、多様な学びと個別学習に適していると思いました。

「数学仕事人」というコラムで数学と実社会との関連を取り上げており、数学を学ぶ意義について気づくことができ、と思います。

巻末では「学びのマップ」として既習事項の整理ができ、振り返り学習に適している、と思います。

以上の点から教育出版を評価いたしました。

[堀川教育長]

それでは、私、堀川からも意見を申し上げます。

数学については、数学的な見方・考え方を働かせて考える資質・能力の育成につながる、特に概念や理論の習得だけではなく、現実の事象と引きつけ、自ら問いや課題を解決する資質・能力を育成することにつながるかという観点を重視して評価を行いました。その上で、教育出版に2票を投じました。

ポイントとして、学習のきっかけとなる問いを見だし、課題の解決から、振り返り、深めるプロセスを通じて、既習事項と新たな問いとのつながりを体験しながら、数学の楽しさを味わうことのできる工夫がされていること。紙面がシンプルで分かりやすく、構造化して構成されており、比較的数学が苦手な生徒であっても自ら数学的に問いや課題を解決する資質・能力を育むことができるよう工夫がされていることを評価いたしました。

ほかに発言漏れ、追加はございませんか。

なければ、御意見はこれにて終結いたします。

数学は、集計の結果、点数が10点と最も高かった教育出版を採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしとのことですので、数学については、教育出版を採択候補といたします。

それでは、次は理科でございます。理科については、東京書籍8点、新興出版社啓林館2点となりました。各委員から御意見を承ります。

高木委員、お願いします。

[高木委員]

私は新興出版社啓林館がよいと思います。2点入れました。

その理由についてですが、1つには、学習指導要領では、理科の目標のキーワードとして、科学的に探究することが示されています。教科書の冒頭で「探究を始めよう」として、学習を進める探究の過程や探究の流れについて分かりやすく説明があり、科学的に探究するための資質・能力の育成により適していること。

2点目として、單元ごとに1か所に探Qクラブや探Q実験が設定されています。これらは、自分でどのような疑問を解決したいのか、課題を明確にすることから始めて、課題に対する自分の考えを書き、他のメンバーとの考えも参考に自分の仮説を立てる。仮説を確かめるためにどのような実験を行えばよいかを計画し、結果の予想をする。そして実験の

結果をまとめ、結果から考察をして、仮説が確かめられたか考える。これらの一連の過程を行うことで着実に科学的に探究する力が身についていくと考えることです。

3点目として、ICTの活用について、観察・実験に役立てることに、教科書巻頭での解説だけでなく、本文中にも「ICTでトライ」で配置され、分かりやすいこと、全般的に自然の事物・事象についての解説や観察実験の結果の説明が、多くの写真やイラスト等を用いて丁寧に書かれ、充実していて、内容の理解がしやすい流れ、構成になっていること。

4点目として、各学年ともに、「科学コラム」として「部活ラボ」や「防災減災ラボ」、「深めるラボ」などの多くのコラムが設けられていて、理科学習の興味や意欲の向上につながる。

以上により新興出版社啓林館がよいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、真野委員、お願いします。

[真野委員]

私は東京書籍がよいと思い、2点入れさせていただきました。

選定理由を2点ほど述べたいと思います。

1点目は、学習指導要領の、自然の事物・現象に進んで関わり、見通しを持って観察・実験などを行い、その結果を分析して解釈するなどの科学的に探究する学習を充実するという視点です。この点では、問題発見、「レッツ・スタート」にて、好奇心を持って、自分の身の回りの事象に疑問を持つことから始め、その疑問から探究の課題を導き出し、その課題を解決する過程が丁寧に書かれています。この点では、第4次日野市学校教育基本構想にある、生徒一人一人が当事者として、自分事として捉えることができるという視点にも通じ、理科の楽しさに触れることができるのではないかと思います。

2点目は、「科学の本棚」という企画です。学習内容に関連している書籍を多数紹介しています。日野市では、学校図書館司書を各校に配置し、積極的な図書館利用の新しいステージを進めているところでもあり、この企画はその流れにもつながるものと考えました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、正留委員、お願いします。

[正留委員]

私は東京書籍がいいと思います。2点入れました。

「どうしてだろう」の探究の学びの育成を大事にしている教科書だと思います。「どうしてだろう」の疑問から課題を設定し、観察・実験をし、考察、振り返りなど、活動の過程で生まれる疑問を大切に学習活動が、探究的な学びの定着を進める構成となっている。各単元に「じっくり探究」のコーナーを設けてあり、探究の流れを深く学べるようになっている点が、より具体的でいいと思いました。

それぞれの学習活動について、丁寧に示されていて、分かりやすいと思います。導入の動画は学習への関心を引き出す作りとなっているほかに、様々なQRコンテンツが用意さ

れている点もいいと思います。学びの支えとして、「ここがポイント」や、理科の見方・考え方を適宜示してある。また、単元の終わりには「学んだことをチェックしよう」、「学習内容の整理」、確かめ問題、活用問題や、社会につながる科学などもあり、学びの確認と振り返りができるようになっている点がいいと思います。

図やイラストは、ポイントが丁寧に表現され、分かりやすく、写真も鮮明であり、ページのレイアウトも学習意欲を促す作りとなっていると思います。

安全のための注意は適切に示してあり、いいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、岩下委員、お願いします。

[岩下委員]

東京書籍がいいと思い、2点投じました。

導入は、まず探究の仕方から入り、教科書の使い方、考察や話し合い、レポートのまとめ方のポイントなどを紹介し、「科学の本棚」では科学関連の図書の紹介をし、科学への興味を引きつけています。また、巻末では、理科室の使い方、主な薬品の性質と取扱いの注意、各種実験用具の使い方を掲載しており、実験用具の使い方については、QRコンテンツでも確認ができます。

単元の初めはダイナミックな写真を採用し、次のページで既習事項の振り返りと、この単元の各章で学ぶ内容を示し、見通しを持って学ぶことができるようになっています。章の扉ページの「ビフォー・アフター」、QRシートですが、学ぶ前と後の違い、すなわち深まった知識を振り返ることができる点がいいと思いました。

章は、問題を発見するところから始まり、疑問を持ち、仮説を立て、実験し、分析する流れで、分かりやすく、実験のページが右におおむね固定されており、ページ構成としてパターン化していて、理解しやすいです。章末問題に加え、単元末で学習の整理をした後、確かめ問題で学びの定着を確認、活用問題としてさらに学ぶことができ、理解度に応じた個別の学びにつながると思います。単元ごとに社会の仕事と科学を関連づけたインタビューページがあり、科学を学ぶ意義を認識できると思います。「じっくり探究」のページでは、左フッターに問題発見から活用までの進捗状況が分かるタブ表示があり、ページの左側にステップの矢印を表記することで流れをつかみ、取り組みやすい工夫がされていると思います。

以上の点から東京書籍を評価いたしました。

[堀川教育長]

それでは、私、堀川からも意見を申し上げます。

理科については、自然を科学的に探究するために必要な資質・能力の育成につながるか、特に理科的な見方・考え方を働かせ、課題を解決する面白さを探究的な学習を通じて味わうことにつながるかとの観点を重視して評価をいたしました。その上で、東京書籍に2票を投じました。

ポイントとして、単元を貫く大きな問いと、時間ごとに取り組む内容の位置づけが明確であり、理科が苦手な生徒に対しても、理科の面白さに触れることのできる工夫がされて

いること、探究的に学習を進めていく工夫、特に課題の設定について、日常生活等に引きつけて生徒が自ら問いを持つことができるような工夫がなされていることや、まとめ表現として、理科の見方・考え方を生かして自分の考え方をまとめ、単元の学びを生かして考えることを促す工夫がされていることを評価いたしました。

以上です。

ほかに発言漏れ、追加はございませんか。

なければ、御意見はこれにて終結いたします。

理科は、集計の結果、点数が８点と最も高かった東京書籍を採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしとのことですので、理科については、東京書籍を採択候補といたします。

ここで議事の都合上、休憩を取ります。３時５５分から再開いたします。

休憩 １５時４１分

開始 １５時５５分

[堀川教育長]

再開いたします。

それでは、次は音楽（一般）でございます。音楽（一般）については、教育芸術社１０点となりました。各委員からの御意見を承ります。

高木委員、お願いします。

[高木委員]

私は教育芸術社がよいと思います。

その理由についてですが、まず１点目として、教科書の学習内容で示したページは、学習指導要領で規定された表現及び鑑賞内容について、各教材ごとに学習内容との関連性の表示があり、どのようなことを学習するのかが分かりやすいこと。

２点目として、教科書の中に設けられた「学びのコンパス」では、みんなで話し合って作成するワークシートが幾つか設定されていて、「主体的・対話的で深い学び」につながる事が期待できること。

３点目として、１年生の音楽入門での雅楽や民謡、２年生及び３年生での歌舞伎、文楽、能など、日本の伝統音楽や郷土芸能も数多く取り上げられ、内容が充実していること、併せてアジアや世界の諸民族の音楽も紹介されるなど、多種多様な音楽が芸術文化として取り扱われていること。以上により教育芸術社がよいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、真野委員、お願いします。

[真野委員]

私も教育芸術社がよいと思い、２点入れさせていただきました。

選定理由ですが、学習指導要領の「他者と協働しながら音楽表現を生み出したり、音楽を聴いてそのよさや価値などを考えたりしていく」という視点です。「学びのコンパス」の

ワークシートでは、生徒が関心を持てるような内容になっています。

一例ではありますが、ビバルディの「春」では、各旋律で聴き取ったこと、感じ取ったことを書き込み、その理由も添えて、みんなで共有するよう組み立てられています。さらに、旋律の特徴や楽器の音色、強弱、音の重なりなど、聴き取る視点も記載しています。また、チェンバロ奏者へのインタビュー記事も掲載しており、聴き方にさらに深みを増してくれる、そういう内容になっていると思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、正留委員、お願いします。

[正留委員]

私は教育芸術社がいいと思います。2点入れました。

生徒の感性に響くよう学習活動が構成され、学びの関連性が図られ、学びやすく作られている教科書だと思います。

教科書冒頭にある学習内容の示しで、1年間の内容が分かるようになっており、見通しが立てられ、把握しやすいと思います。

表現と鑑賞、それぞれの思考力・判断力・表現力、知識、技能の3つの柱では、各教材での関連が分かるようになっており、何を学ぶか理解しやすく、見通しを持てることと、共通事項が各教材のページにも示されており、振り返りや学びの習得の確認に有効であると思います。

教材も、学年に応じたものでバランスよく配列してあると思います。各教材ページには、学習目標を示し、目標に向けて取り組む学習活動を具体的に示してあり、またどのような曲かの示しがあり、問いかけが適切にあり、課題を持ち活動に取り組めると思います。

さらに、「学びのコンパス」では、課題を焦点化し、学習活動が適切であり、「主体的・対話的で深い学び」の体得につながると思います。

キャラクターの吹き出しなどは、学びのヒントが効果的に示され、生徒の主体的な活動につながると思います。

写真・図・イラストは、分かりやすく、良質で適切でよいと思います。配色もよく、ページのレイアウトもなじみやすく、いいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、岩下委員、お願いします。

[岩下委員]

私も教育芸術社がよいと思いました。

巻頭導入で、歌唱・創作・鑑賞に色分けで学習内容を示しており、学ぶポイントについて、3観点ごとの分類がされていますが、その鑑賞のところでは、技能面が空欄になっており、鑑賞は条件なく心のままに受け止めることを示唆しており、分かりやすい。

QRコンテンツ「マイメロディー」の創作ツールは秀逸で、楽しみながら自分で音楽を作る活動ができる点、歌唱ページには全曲空ピアノがついており、自主練習に役立つと思われる点。

SDGsについて、2・3年下巻で見開きで触れている点。

1年の日本音楽入門では、時代と日本音楽を年表形式で表しており、分かりやすい。また、2・3年下巻の音楽史では、上段に日本、下段に西洋を配列し、写真や代表曲を交えて分かりやすく掲載している点。

「学びのコンパス」では、曲について、注目するポイント、調べ方の例などで導きながら、自身が気づいたことや感じたことを言語化する活動が設けられている点。

2・3年下巻で、海外編・日本編の音楽ジャンルを相関図的にまとめてあり、メディアの変遷も掲載しており、興味を引く点。

楽曲からその曲が生まれた時代、地理的確認、背景などを深く学ぶことができる工夫がされている点を評価して、教育芸術社に2点入れました。

[堀川教育長]

それでは、私、堀川からも意見を申し上げます。

音楽（一般）については、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わることにつながるか、特に率直に音楽に親しみ楽しむことにつながるかとの観点を重視して評価をしました。その上で、教育芸術社に2票を投じました。

ポイントとして、生活を明るく豊かにしていくことを大切に、実生活の中にある音や音楽に関心を促す工夫がなされており、親しみやすく、音楽を楽しむことにつながる教科書だと評価をいたしました。

以上です。

ほかに発言漏れ、追加はございませんか。

なければ、御意見はこれにて終結します。

音楽（一般）については、集計の結果、点数が10点と最も高かった教育芸術社を採択候補として選定したいと思います。いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

[堀川教育長]

異議なしとのことですので、音楽（一般）については、教育芸術社を採択候補といたします。

それでは、次は音楽（器楽）でございます。音楽（器楽）については、教育芸術社10点となりました。各委員からの御意見を承ります。

高木委員、お願いします。

[高木委員]

私は教育芸術社がよいと思います。

その理由についてですが、1つには、教科書の中ではアルトリコーダーの演奏に最もページ数が割かれています。教材は、タンギングから段階的にレッスン1、2、3、4と、代表的な曲とともに設定されていて、演奏技能の習得が分かりやすく説明されていること。そして小学校で習ったソプラノリコーダーでも演奏できる楽譜が併せて掲載されているなど、内容が丁寧で、充実していること。

2つ目として、日本の伝統音楽の楽器編成についての一覧表や「学びのコンパス」、端末

の資料など、各資料が充実していること、また音楽（一般）との関連性を考慮すると、使いやすいこと。

以上により教育芸術社がよいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、真野委員、お願いします。

[真野委員]

私は教育芸術社がよいと思い、2点を入れさせていただきました。選定理由を3点述べたいと思います。

1点目は、日野市の場合、使用する楽器はリコーダーが中心となっているため、その部分で充実している視点を重視しました。リコーダーの課題曲では、見開きで完結していること、レッスン1から4へ順番に難易度を上げている点などです。

2点目は、学習指導要領にある「他者と共に一つの音楽表現をつくる過程を大切にする」という視点です。アンサンブルの発展的な内容は「アンサンブルセミナー」のページにまとめてあり、実際に演奏を通して確認する組立てになっています。

3点目は、音楽（一般）の教科書と同じ発行者の教科書を利用することによる使いやすさの視点です。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、正留委員、お願いします。

[正留委員]

私も教育芸術社がよいと思います。2点入れました。

生徒の「やってみよう」を大切に、表現する学習活動が丁寧に構成され、学びの関連性が図られている教科書だと思います。冒頭の学習内容の示しで、思考力・判断力・表現力、知識、技能の3つの柱と各楽器教材との学習内容の関連が捉えやすく、見通しができる工夫がされ、何を学ぶかを理解しやすく、また共通事項が示され、演奏や創作の学習活動での考え方に働くと思います。

また、楽器ごとに丁寧な導入を図られ、「やってみよう」の意欲につながる学習の流れがよいと思います。知識と技能が生徒の視点に立ち分かりやすくまとめられており、実践につながると思います。各教材では、学習目標の明示、学習活動の例示、考えたいポイントの示しが適切で、焦点化され、「深い学び」につながると思います。

また、「学びのコンパス」は、表現・鑑賞で自分の考えをまとめ、いろいろな活動につながると思います。

デジタルコンテンツは、楽器の特徴を演奏・動画で押さえ、学習に役立つ内容となっており、写真・図・イラストは、分かりやすく構成されており、学びの意欲につながると思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、岩下委員、お願いします。

[岩下委員]

私も教育芸術社がよいと思いました。

導入 8 ページで、器楽での学習内容を明示しており、取り組みやすくなっていると思います。

楽器の紹介は、まずその楽器に関連する、例えば種類や演奏形式、文化などの説明から入り、大きく理解した上で、興味を引いてからその楽器の演奏の仕方などを説明する順で、器楽に親しむ準備を整えていると感じました。

合奏のパートでは、想定している楽器がソプラノリコーダー、アルトリコーダーのほか、木琴、鉄琴、鍵盤楽器と多岐にわたっており、膨らみのある演奏になることが想定されており、いいと思いました。

「学びのコンパス」では、注目するポイントを示しながら、話合いでの気づきを言語化し表現する取組が設定されている点、このような観点から教育芸術社を評価いたしました。

[堀川教育長]

それでは、私、堀川からも意見を申し上げます。

器楽については、楽器の活動を通じて音楽に親しみ、楽しむことにつながるかとの観点を重視して評価を行いました。その上で、教育芸術社に 2 票を投じました。

ポイントとして、実生活の中にある音や音楽に関心を促す工夫がなされているほか、学習目標と学習活動との結びつきが分かりやすく、楽器の活動を通じて音楽に親しみ、楽しむことができる工夫がされている点を評価いたしました。

以上です。

それでは、ほかに発言漏れ、追加はございませんか。なければ、御意見はこれにて終結します。

音楽（器楽）については、集計の結果、点数が 10 点と最も高かった教育芸術社を採択候補として選定したいと思います。いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

[堀川教育長]

異議なしとのことですので、音楽（器楽）については、教育芸術社を採択候補といたします。

それでは、次は美術でございます。美術については、日本文教出版 9 点、光村図書出版 1 点となりました。各委員からの御意見を承ります。

高木委員、お願いします。

[高木委員]

私は日本文教出版がよいと思います。2 点入れました。

その理由についてですが、1 つには、各題材ごとに身につけられる力である、「知識・技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性」の 3 つの柱について、学びの目標として、具体的に分かりやすい言葉で明記されていること。また、題材では、「鑑賞の入り口」と「造形的な視点」が対になる形で表現や鑑賞についての問いかけやアドバイスがあり、見方・考え方などが深まる工夫がされていること。

2 点目として、生徒の作品が多く取り上げられ、作者の言葉と併せて掲載されており、

着想のきっかけや造形のポイントなどが述べられていて、創作意欲の向上につながることに。

3点目として、巻末に充実した学びを支える資料があり、題材に関連する知識・技能の習得を図ることができることに。

以上により日本文教出版がよいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、真野委員、お願いします。

[真野委員]

私も日本文教出版がよいと思い、2点入れさせていただきました。

選定理由ですが、学習指導要領の「造形的な見方・考え方」の3つの視点として、1、「感性や想像力を働かせる」、2、「対象や事象を造形的な視点で捉える」、3、「自分としての意味や価値をつくりだす」という視点です。原寸大や原色を忠実に再現した写真や絵画が多く、その迫力感、本物感が伝わる内容になっています。本物に触れることで磨かれる感性、想像力を大切にできる教材であると思います。

また、生徒の作品や作者の声も多く紹介されており、この点でも生徒の感性や創造力を磨くことができるのではないかと思います。この点では、第4次日野市学校教育基本構想にある「ホンモノの体験・ホンモノの感動を共につくり、味わう姿」に通じるものと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、正留委員、お願いします。

[正留委員]

私は日本文教出版がよいと思います。2点入れました。

生徒が「自分ならこういう表現をしたい」という心の動き、作品や様々なものから感じ取ったことを学びにつなげることを大切にした教科書だと思います。題材配列が適切で、それぞれの学年で導入が工夫された題材と学習活動の流れが感性に響き、学習活動につながるよう構成されていると思います。

各題材の見開きのページでは、学びの目標が、造形的な見方、技能に関して、発想や構想、鑑賞に関して、主体的に取り組む学びに関して、それぞれ適切に具体的に示されていて、自分なりの工夫や表現につながると思います。

生徒の作品が多く掲載され、作者の言葉が適切に配置され、生徒が「自分ならこんなふうにやってみよう」という意欲につながる、工夫された紙面構成となっている点に優れていると思います。

また、折り込みの図版では、原寸大で表現したり、大きさの実感と実物のディテールに迫るもので、個々の驚きや発見につながると思います。

2・3の上の浮世絵は、発色がよく、刷りや彫りの表現について、様々な気づきにつながり、一層深い学習ができるものとなっていると思います。

QRコンテンツは、意欲的な学習活動につながる内容であると思います。また、「鑑賞の入り口」には着目すべき学びの視点が示され、「表現のヒント」では様々なアドバイスや造

形的な視点が示されており、主体的学習活動につながると思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、岩下委員、お願いします。

[岩下委員]

美術については、1者に決めかねましたので、光村図書出版と日本文教出版に1点ずつ入れさせていただきました。

まず、光村図書ですが、1年の「風神雷神」の像と、その扉内面に「風神雷神図屏風」を採用し、同じ題材を立体と絵画で鑑賞するという設定です。また、尾形光琳の「風神雷神図」と、それを模写したと言われている酒井抱一の「風神雷神図屏風」を比べて鑑賞することができるというすばらしい企画だと思いました。このページのQRコンテンツは音声ナビと解説動画があり、解説動画では細部の拡大や歴史的内容も含まれており、あたかも学芸員による説明を聞いているようで、大変充実していました。

次に、鑑賞、表現それぞれで活動内容を示し、目標を設定しており、分かりやすい点、ユニバーサルデザイン、防災のデザインなど、生活に役立つデザインという概念を学ぶことができる点、生徒の作品とプロの作品は分けて掲載されており、見やすく、生徒作品も、できそうと思わせる作品が多いなと感じました。

資料が別冊になっており、作品制作の際に技能面の参考に使うには教科書より小ぶりで扱いやすい点、思考ツールも掲載しており、作品の構想の具体化に役立つ点などを評価しました。

次に、日本文教出版ですが、1年の初めに3年間の美術の学びを掲載し、見通しを持ち、また美術で造形的な視点が発見や表現につながることを示しています。1年見開きで「風神雷神図屏風」と、その内面には「唐獅子図屏風」を配し、QRコンテンツでは屏風の特性と、当時を想定したろうそくの明かりで鑑賞するという動画が見られ、より迫力を感じました。

1年表紙裏の「グランド・ジャット島の日曜日の午後」という作品の習作も掲載しております。資料ページのアーティストインタビューでも、構想や試作の経過が示されており、作品の途中にも光を当てている点がいいと思いました。

2・3年下巻で池田学さんの「誕生」を採用し、部分を原寸大とすることで表現の繊細さを見せており、またこの観音ページの内面にはピカソの「ゲルニカ」を掲載しており、「あの日を忘れない」として、戦争や自然災害を関連づけて鑑賞を通して学んでいる点がいいなと思いました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、私、堀川からも意見を申し上げます。

美術については、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることににつながるか、特に率直に美術に親しみ、楽しむことにつながるかとの観点を重視して評価をいたしました。その上で、日本文教出版に2票を投じました。

ポイントとして、見開きの一貫した紙面構成と、充実した質の高い写真の例、分かりや

すく工夫された言葉選びなど、子供たちにとって親しみやすく、授業者にとって使いやすい工夫がされていること、美術の授業において何を学び、どのような力をつけたいのかが明確で、学びに向かうための問いや美術家の見方・考え方が深まるような視点の提示、また足場かけがふんだんに盛り込まれており、美術に親しみ、楽しむことにつながる工夫がなされていることを評価いたしました。

以上でございます。

ほかに発言漏れ、追加はございませんか。なければ、御意見はこれにて終結いたします。

美術は、集計の結果、点数が9点と最も高かった日本文教出版を採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしとのことですので、美術については、日本文教出版を採択候補といたします。

それでは、次は保健体育でございます。保健体育については、Gakken 10点となりました。各委員から御意見を承ります。

高木委員、お願いします。

[高木委員]

私はGakkenがよいと思います。

その理由についてですけれども、1つには、1単位時間の流れが「ウォームアップ」、「学習の課題」、「エクササイズ」、「学びを生かす」という構成になっていて、見通しを立てた学習につながるように組み立てられていること。またこれらは見開き2ページでの構成で、本文と併せ、関連する資料や補足説明、コラム等も工夫されて配置されているので、学習内容が把握しやすく、分かりやすいこと。

2点目として、体育編、保健編ともに、各章の終わりに「探究しようよ!」が設けられ、複数の身近なテーマから発展的なテーマまで扱われていて、学習への興味・関心を高める工夫がされていること。

3点目として、保健編の1年生2章「心身の発達と心の健康」や、2年生3章「健康な生活と病気の予防」での生活習慣病やがんの予防、喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、基礎・基本について丁寧に記述されていて、充実していること。

以上によりGakkenがよいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、真野委員、お願いします。

[真野委員]

私もGakkenがよいと思い、2点入れさせていただきました。

選定理由を2点ほど述べたいと思います。

1点目ですが、学習指導要領にある「生徒の主体的・対話的で深い学びの実現」という視点です。各テーマは見開きで構成されており、課題の発見から始まり、学習の課題を確認し、課題の解決、学びの活用のステップで組み立てられており、生徒自身が1時間の授業で流れを見通すことができると思います。また、文章や図や表などがバランスよく配置

されている点も評価しました。

以上の内容は、第4次日野市学校教育基本構想にある、生徒一人一人が当事者として自分事として捉えることができるという視点にも通じるものと思います。

2点目は、学習指導要領にある体育や保健の見方・考え方を働かせながら、運動や健康について自他の課題を発見し、その合理的な課題解決のための活動の充実を図ることという視点です。一例ですが、「探究しよう！」というところでは、コミュニケーションについて、具体的な事例を通して自分の課題を発見することができるなど、コミュニケーションの実践方法も充実しています。また、日野市が力を入れているがん教育も内容が充実していると思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、正留委員、お願いします。

[正留委員]

私はGakkenがいいと思います。2点入れました。

スポーツ、健康や生活について、よりよくするための課題意識や考え方を育むことを大切にしている教科書だと思います。学びの流れが分かりやすく構成されていると思います。導入の「ウォームアップ」で課題を捉えさせ、学習の課題を確認し学習に入り、本文では、学習を基に「エクササイズ」で調べや話し合いを展開し、学びを深め、「学びを生かす」の活用のところでは、振り返りと活用を図る発展的な学びにつながっています。導入を大切にし、自分の考えをきちんと持ち、活動を進められる作りがいいと思います。

学習の段階ごとの吹き出しやキャラクターのアドバイスが適切で、学びを焦点化した学習活動につながっていると思います。

各章に「探究的な学び」が設定され、課題解決に向け、自分の視点を持ち、調べたり考える学習活動となっており、また章のまとめでは、学習の振り返りと学びの定着の確認をし、実生活での活用を問われる構成が具体的でよいと思います。

写真・イラストなども適切で、紙面構成も分かりやすくレイアウトされていると思います。

また、様々な資料とコラムなどが「深い学び」につながると思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、岩下委員、お願いします。

[岩下委員]

Gakkenがいいと思い、2点投じました。

巻頭の導入部分で、保健体育という科目に対して、その学習範囲が広いこと、協働で学ぶこと、対話や調査、まとめ方などを丁寧に示しています。

章の初めでは、この章で学ぶこと、発展的に高校で学習することも紹介しながら、学びたいことや学んだことを書き込むスペースが設けられ、学習の前後で自身の変化を確認することができるようになっています。

1単元が見開きで構成されており、「復習の課題」と「学びを生かす」が呼応しており、

また「ウォームアップ」とも関連しており、「ウォームアップ」の問いには学習者の関心を引きやすい工夫がされています。また、單元ごとに右下部分に「とりくメーカー」というものがあり、自己評価をできる点もいいと思いました。

「探究しようよ！」のページでは、関連ページを示し、自己を振り返ったり、自分の考えを言語化するなど、「深い学び」が展開されています。

章末問題では、知識、思考・判断・表現の質問が設けられ、主体的に学ぶ態度としては、自分の考えを書き留める活動になっているのもいいと思いました。

自転車事故に関するページを4ページで展開し、中学生になじみの深い乗り物としての自転車と交通法規について「探究しようよ！」のページでも取り上げています。自分が自転車に乗るということに伴う安全な行動、責任などについて深く自覚を促す内容になっています。

また、自然災害についても、6ページで展開し、写真やイラストなどを用い、自分事として学ぶことができる点を評価いたしました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、私、堀川からも意見を申し上げます。

保健体育については、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現することにつながるか、特に日常と学習とを結びつけ、自他の課題を発見することや、学習者自身の行動変容につながっていくかという観点を重視して評価をいたしました。その上で、Gakkenに2票を投じました。

ポイントとして、各時間に学ぶ学習課題が明確であり、身近な事象から「なぜ」、「どうやって」を引き出し、課題の発見から課題の解決、学びの活用へと見通しを持って学習を進めていくことができるよう、単位時間ごとの学習の流れが分かりやすく整理されていること、学びを土台として、生徒が自らの興味・関心に基づき、学習者自身の行動とひもづけて探究的に学ぶことができる工夫がなされていることを評価いたしました。

以上です。

ほかに発言漏れ、追加はございませんか。なければ、御意見はこれにて終結いたします。

保健体育は、集計の結果、点数が10点と最も高かったGakkenを採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしとのことですので、保健体育については、Gakkenを採択候補といたします。

それでは、次は技術・家庭（技術分野）でございます。技術・家庭（技術分野）については、東京書籍10点となりました。各委員からの御意見を承ります。

高木委員、お願いします。

[高木委員]

私は東京書籍がよいと思います。

その理由についてですが、1つには、教科書の冒頭の「技術分野のガイダンス」で、技術分野を学ぶ意義等について、ポイントが丁寧に説明されていること。特に第3節の「技

術の見方・考え方」の項では、技術の最適化やトレードオフについて、また第4節では、問題解決のプロセスについて、PDCAを交えて丁寧に分かりやすく説明されていること。

2点目として、技術分野では、A材料と加工、B生物育成、Cエネルギー変換、D情報の4分野で学習しますが、実習である問題解決例として、「サステナブルなものづくりに挑戦しよう」、「持続可能な食料生産のためにできることは何だろう」、「well-beingを高めるための問題解決」、「できたらいいなを形にしよう」などのテーマで示され、生徒たちの問題解決力の育成につながることを。

3点目として、4領域の実習について、各単元の最終章で技術の最適化や持続可能な社会のためにどのようなことができるかについて考察する課題が示されており、現在の課題解決に向けての発展が期待できること。

4点目として、技術分野の基本的な原理・原則等についての豊富な写真やイラスト、実習の基礎理論についての「THCH Lab」などが掲載され、分かりやすく学習が進められること。

以上により東京書籍がよいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、真野委員、お願いします。

[真野委員]

私も東京書籍がよいと思い、2点入れさせていただきました。

選定理由ですが、2点ほど挙げたいと思います。

1点目は、学習指導要領にある「生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う」という視点です。問題発見や課題の設定では、身近な生活の場面を取り上げた事例が多く、自分と関連づけて考えることができ、自分の課題や改善策の発見につなげることができると思います。第4次日野市学校教育基本構想にある、生徒一人一人が当事者として自分事として捉えることができるという視点につながるものと思います。

2点目は、問題解決のプロセスを学び、実生活に生かすことができるという視点です。問題発見や課題の設定、解決策の構想、製作、評価・改善、修正、新たな問題の発見などのステップは、PDCAサイクルの視点で事例を多く示しており、その考え方はほかのいろいろな分野にも応用ができると思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、正留委員、お願いします。

[正留委員]

私は東京書籍がよいと思います。2点入れました。

ガイダンスが丁寧に作られており、学習の見通しを持ちやすくなっており、問題解決の学習法が示され、実生活や社会に役立つ視点や考え方を大切にしている点がいいと思います。

SDGs と技術との関わりについて、各分野ごとに分かりやすく丁寧に示してあります。

目標の次にある「レッツ・スタート」では、キャラクターから適切な質問や視点が示され、学習課題への導入資料として分かりやすく、ページ左側に本文、図版などは右側に固定してあり、見やすいレイアウトとなっています。「調べてみよう」、「考えてみよう」、「やってみよう」、「話し合ってみよう」などの活動が、題材に即し、適切に示されています。また、「THCH Lab」、「技術のとびら」、問題解決例などのページが「深い学び」につながっている作りがいいと思います。写真・イラスト・図が分かりやすく丁寧に表現され、要点が押さえられており、ページ配列もよく、見やすいと思います。

安全については、3つの視点とともに、屋内、屋外での活動時、情報機器の使用時及び感染症対策について触れてあり、適切であると思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、岩下委員、お願いします。

[岩下委員]

東京書籍に2点投じました。

技術分野のガイダンスとして、SDGs や思考ツール、PDCAサイクルについて丁寧な説明があり、技術科で学ぶ内容が具体的問題解決につながるという期待を持って学習に取り組むことができるように工夫されています。

学習のまとめでは、3観点項目ごとに設問が設けられており、学習内容の定着が図れる。技術の考え方として、ニーズ、環境、安全性、経済性のアイコンを使い、関連項目に配置しており、技術的視点の定着につながる工夫がされています。

問題解決の評価・改善・修正のページでは、PDCAサイクルの思考が繰り返されることでより定着すると思われます。

「やってみよう!」、「THCH Lab」では、汎用性のある手順として解説されているので、課題に対しての解決として、目的別に選んだり学んだりすることができるようになっています。

コラム「技術の匠」では、それぞれの分野で技術を生かしている人の工夫や職業観を知ることができるようになっています。

巻末でSTEAM、Society 5.0について触れており、未来に向けて夢が広がり、技術科の学びの期待感につながるように思います。

以上の観点から東京書籍を評価いたしました。

[堀川教育長]

それでは、私、堀川からも意見を申し上げます。

技術については、物づくりなど、技術に関する実践的な活動を通じて、技術により、よりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することにつながるか、特にテクノロジーを課題解決に生かしていく実践的な力を育むことにつながるかの観点を重視して評価をしました。その上で、東京書籍に2票を投じました。

ポイントとして、単元ごとに向き合う問いや目標、学習課題が明確であり、問題の発見、課題の設定から、技術の見方・考え方や知識を生かして問題解決を行い、振り返る中で学

びを深めるという学習の流れが明確で、毎時の学習の構成も一貫しており、学習者にとって実践的な力を育む工夫がされていること、実習に関して、あらかじめ決められた内容を示すのではなく、自らの課題設定に対して問題解決に当たる上で参考にできる資料を提示することで主体的に課題を解決する力を育む工夫がされていることを評価いたしました。

以上です。

ほかに発言漏れ、追加はございませんか。

なければ、御意見はこれにて終結いたします。

技術・家庭（技術分野）については、集計の結果、点数が10点と最も高かった東京書籍を採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

〔堀川教育長〕

異議なしとのことですので、技術・家庭（技術分野）については、東京書籍を採択候補といたします。

それでは、次は技術・家庭（家庭分野）でございます。技術・家庭（家庭分野）については、東京書籍8点、開隆堂出版2点となりました。各委員からの御意見を承ります。

高木委員、お願いします。

〔高木委員〕

私は開隆堂出版がよいと思います。2点入れました。

その理由についてですが、1つには、教科書の冒頭にガイダンスがあり、広がる家族・家庭と地域・環境の学び、家庭分野の学び方と身につけたい力、自立と共生で成り立っている生活、生活改善に取り組むなどのテーマで分かりやすく整理、説明されていて、家庭分野の「主体的・対話的で深い学び」が期待できること。

2つ目として、家庭分野では、学習指導要領で、指導計画の作成に当たって学習の時期が指示されている項目があります。その指示に則って教科書の単元配列が構成されているので、学習が進めやすいこと。

3点目として、最近も各種の災害が続発していますが、防災に関する記述に多くのページを割き、内容も充実し、実用的と感じています。この防災の項での「考えてみよう」では、中学校の体育館が避難所になったと想定し、避難生活が少しでも快適になるために、中学生として自分たちができそうなことを考えるテーマが設定されているなど、「主体的・対話的な学び」につながる具体例が豊富なこと。

4点目として、各章の終わりに「先輩からのエール」というコラムでは、既習分野の第一人者から示唆に富んだメッセージがあり、生徒たちの将来の生き方につながることを期待できること。

以上により開隆堂出版がよいと思います。

以上です。

〔堀川教育長〕

真野委員、お願いします。

〔真野委員〕

私は東京書籍がよいと思い、2点入れさせていただきました。

選定理由ですが、学習内容の表記が丁寧で、分かりやすいという点を重視しました。

具体的な例ではありますが、調理に関してですが、曖昧な表現ではなく、具体的に時間や視覚で捉えられる表現などを用いてまとめていると思います。また、裁縫では、ミシン糸のかけ方を丁寧に見やすく表現している、失敗例を挙げるなど、生徒の理解度が深まり、実践に結びつけることができると感じております。

第4次日野市学校教育基本構想にある、生徒一人一人が当事者として自分事として捉えることができるという視点につながるものと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、正留委員、お願いします。

[正留委員]

私は東京書籍がいいと思います。2点入れました。

目標の次にある「レッツ・スタート」は、キャラクターの質問や視点が示され、学習課題を明確に捉える導入資料として分かりやすい作りであると思います。ガイダンスが丁寧に作られており、学習の見通しが持ちやすいと思います。

本文はページ左側に、図版などは右側に固定してあり、見開き2ページを基本としていて、字や写真が学習内容に沿って分かりやすく表現され、見やすいレイアウトだと思います。

衣食の生活などの実習・学習活動の分野では、衛生面・安全面の扱いが基本技術とともに図・イラスト・写真をうまく活用し、分かりやすく丁寧に示されています。実習例も豊富で、学習者の視点に立った作りとなっている点がいいと思います。

また「調べてみよう」、「考えてみよう」、「やってみよう」、「話し合ってみよう」などの学習活動が題材に対し適宜示されており、分かりやすく、折り込みの表を使い、情報を的確につかめる工夫があり、各編の終わりには「学習のまとめ」があり、「振り返り」で学習の確認や学習深めて生活に生かすなどの学びが設定されている点などの構成がいいと思います。

生徒の視点を大切にした教科書だと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、岩下委員、お願いします。

[岩下委員]

東京書籍がいいと思い、2点入れました。

導入のページで、家庭分野の見方・考え方を示しているとともに、各編の見開きページでその見方・考え方の何と深く関連しているか、また家族・家庭の基本的な機能とどう結びついているかを示し、見通しを持って取り組むことができます。

第1編では、家庭科で学習する内容を包括的に説明し、自分の成長や関係する人々や環境との共生、小学校での既習事項の整理をしており、とても丁寧です。また、「やってみよう」のページで、自己を振り返り、中学1年生の現在の自分と1年間家庭科を学習した後の自分の考え方の変化やそれに伴う行動の変化を可視化して分析でき、成長の評価につな

がると思います。

編の初めに見開きページで、その編で学ぶ各章と既習事項の整理をし、自分が知りたいこと、できるようになりたいことを言語化し、自覚を持って取り組むことができるようになっていきます。

「学習のまとめ」では、3観点ごとの設問があり、「生活に生かそう」で自分の振り返りとこれからを考えるようになっています。

調理の実習部分では、献立を調理する場合の手順例、タイムスケジュールを複数掲載しています。実際に生活に取り入れる際に大いに役立つと思います。調理の手順も、目で見て分かる様子の違いや具体的な時間、「少々」と「一つまみ」の違いが分かる写真、火加減の写真と説明、左利きの包丁の使い方の写真など、丁寧で分かりやすい説明がされています。

裁縫の「いつも確かめよう」では、失敗例も掲載しており、比較して対応することができるようになっています。

住生活の安全について、幼児、高齢者など、様々な立場から見た安全を考える設問があり、6編での学習につながっています。

消費についてですが、資料に「中学生に多い相談事項と対策」としてまとめられており、学習者の身に引き寄せた学びができると思います。

以上の点から東京書籍を評価しました。

[堀川教育長]

それでは、私、堀川からも意見を申し上げます。

家庭については、衣食住などに関する実践的な活動を通して、よりよい生活の実現に向け、生活を工夫し、創造する資質・能力を育成することにつながるか、特に自分自身の今後の生活を展望した課題の解決や生活の工夫につながるかの観点を重視して評価を行いました。その上で、東京書籍に2点を投じました。

ポイントとして、授業ごとに向き合う問いや目標、学習課題が明確であり、実生活に即した問題の発見、課題の設定から、学習課題に対して知識・技能を習得し、学習を生かして活動を行い、まとめるという学習の流れが明確で、学習者にとって自身の生活とひもづける工夫がされていること、課題の解決を通じた学習の過程で活用する実習に関する資料が豊富であり、失敗例のページなど、学習者にとって分かりやすい表現上の工夫がされていることを評価いたしました。

以上です。

ほかに発言漏れ、追加はございませんか。なければ、御意見はこれにて終結いたします。

技術・家庭（家庭分野）については、集計の結果、点数が8点と最も高かった東京書籍を採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

[堀川教育長]

異議なしとのことですので、技術・家庭（家庭分野）については、東京書籍を採択候補といたします。

それでは、次は外国語でございます。外国語については、光村図書出版9点、東京書籍

1点となりました。各委員からの御意見を承ります。

高木委員、お願いします。

[高木委員]

私は光村図書出版がよいと思います。2点入れました。

その理由についてですが、1つには、教材が3年間を通して生徒と同年齢の4人のキャラクターの成長とともに学習が進む展開になって、生徒が親しみやすく、もっと読みたいなどと楽しみながら学習を進める構成になっていること。

2つ目として、各単元の初めに4技能のうち2技能に的を当ててGoalが示されており、単元の目標が焦点化されていること。また、ページの構成については、左側に本文が配置され、右側にListen、Speak、Writeという言語活動の流れが配置され、左右のページを合わせての学習の流れが分かりやすい構成になっていること。

3点目として、短時間学習用教材の帯教材、主教材を補強する教材の小教材などが設けられていて、例えば帯教材の「Story Retelling」や「Let's Talk」は、各單元ごとに話すことの即興性を高める教材が用意されているなど、継続的に学ぶ工夫がされていること。

4点目として、巻末付録の英語の学び方ガイドをはじめとする各種資料内容が充実しており、「CAN-DO List」も分かりやすく構成され、生徒が自己評価をしやすいこと。

以上により光村図書出版がよいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、真野委員、お願いします。

[真野委員]

私も光村図書出版がよいと思い、2点入れさせてもらいました。

選定理由ですが、学習指導要領の、互いの考えや気持ちを伝え合う対話的な言語活動を一層重視する。そのためには、架空のモデル的な対話の繰り返しではなく、相手の思いや言葉に反応して自分の思いや考えを伝える、実践感のある即興性を意識した対話を目指すという視点です。

教科書の作りが、3年間を通し登場人物が成長していくストーリー性があり、より現場感のある日常会話などが取り上げられています。小学校から学んでいる英語を嫌いにならず、生徒の英語に対する関心度をより高め、楽しんで学ぶことができるのではないかと考えました。

以上の内容は、第4次日野市学校教育基本構想にある、生徒一人一人が当事者として、自分事として捉えることができるという視点にもつながるものと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、正留委員、お願いします。

[正留委員]

私は光村図書がよいと思います。2点入れました。

繰り返しの活動を図り、話すこと、聞くことを育成することを大切にした教科書であると思います。

巻頭に教科書の構成と使い方が示されており、学びの見通しが図られ、簡潔で分かりやすいと思います。1年生から3年生まで、それぞれユニットで構成されていますが、各ユニットの冒頭では、学習の目標やストーリーの大まかな説明があり、学びへの意欲を高める構成となっています。ストーリー展開が工夫され、生徒が次を知りたいと思う作りとなっており、意欲的活動につながると思います。

大切な表現は習得できるよう、繰り返しの活動が設定されている点がいいと思います。

各パートは見開きで、左右にストーリーと学習活動の示しに分けてあり、イラストもストーリーに従って表現され、色合いもよく、写真やイラストが適切に配置され、見やすく、分かりやすい作りであると思います。

ゴールでは、目標に応じた活動や振り返り学習が設定され、学びの定着を図った構成となっています。

また、巻末には様々な資料があり、英語の学び方ガイドでは、生徒の立場に立った説明が有効であると思います。

QRコンテンツは、学びの確認と繰り返し学習と個別最適な学習につながると思います。以上です。

[堀川教育長]

それでは、岩下委員、お願いします。

[岩下委員]

外国語については、1者に決めかねましたので、東京書籍と光村図書出版に1点ずつといたしました。

まず、東京書籍のほうですが、小学校からのつながりを意識し、ステージ0では小学校での既習事項の振り返りから導入としており、ユニット4まで既習事項をスパイラルで振り返りながら学習をする設定で、取り組みやすいと思いました。

最終ページには、当該学年だけではなく、3年間を通した「CAN-DO List」を提示し、自己評価及び見通しを持って取り組むことができるようになっています。

ユニットの始まりは、扉ページでゴールを示し、プレビューで聞き取りをするところから始まり、Read and thinkで概要を把握し、表現活動へと進めることで、文章の読み方を身につけることができるようになっています。

「リアルライフイングリッシュ」では実際の生活や場面に応じたアクティビティーが設けられていて、いいと思いました。

QRコンテンツの読み上げ速度も大変聞きやすいと感じました。文法は、Grammar for communicationとしてまとめがあり、S、V、Oを明記してあります。これは非常に分かりやすいと思いました。

英語の歌は、3曲ほど歌詞が採用されており、歌で英語に親しむ活動ができるよう工夫されています。

このような点を評価しました。

次に、光村図書出版ですが、導入部は教科書の構成、1年次、2年次、3年次までの目標が掲げられており、めあてを持って取り組みやすいと思いました。

1単元が観音ページでの区切りとなっており、左に本分、右にListen、Speak、Writeと

いう言語活動の流れが配置され、学習の流れとしてつかみやすくなっています。

文法は、アクティブグラマーとしてまとめられ、色分けがされ、理解しやすいと思いました。

QRコードは、教科書のページと同じ画像で入りやすく、字幕表示もあり、基本文のコーナーでは問題も提示され、個別学習に適していると思われました。

Daily Life として身近な場面でのアクティビティーが設定されている点がいいと思いました。

英語の歌も、1か所にまとめて4曲提示されており、歌で英語に親しむ工夫がされているなと思いました。

これらの点を評価しまして、光村図書に1点入れました。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、私、堀川からも意見を申し上げます。

外国語については、英語による言語活動を通じて情報を理解し、コミュニケーションを図る力の育成につながるかとの観点を重視して評価をいたしました。その上で、光村図書出版に2点を投じました。

ポイントとして、敷居の低さがあり、英語が苦手な生徒にも英語を通じて情報を理解することやコミュニケーションを取ることに取り組みやすい教科書となっていること、実生活に即した場面設定の中で各技能領域の力を伸ばしていくための工夫がされていること、1年間を通じた学習の見通しを持ちやすい工夫がされていることを評価いたしました。

以上です。

ほかに発言漏れ、追加ございませんか。

なければ、御意見はこれにて終結いたします。

外国語は、集計の結果、点数が9点と最も高かった光村図書出版を採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしとのことですので、外国語については、光村図書出版を採択候補といたします。

それでは、次は道徳でございます。道徳については、Gakken 7点、日本文教出版3点となりました。各委員からの御意見を承ります。

高木委員、お願いします。

[高木委員]

私はGakkenがよいと思います。2点入れました。

その理由についてですけれども、1つには、学習指導要領で「特別の教科 道徳」で扱うことを求める項目を、よりよく生きるための22の鍵として教材とともに示され、教材は目次と合わせてどのようなテーマで学ぶのかが整理されていて、分かりやすいこと。

2点目として、教材については、生命の尊重に関する教材が多く充実していること。各学年に3つの教材のほかに、命の大切さを考える多くの教材があり、特に1年生の「たとえ僕に明日はなくても」は、日野市出身の石川正一さんの著作に基づくものであり、日野

市の中学生にぜひ読んで考えを深めていただきたいこと。

3点目として、発問は本文に関する中心発問と発展的な発問で構成されていて、多様な考え方にに基づき、幅広い話合いができ、教科の目標である、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために「主体的・対話的で深い学び」ができること。

4点目として、関連情報の「クローズアップ」や、学びの提案が示された「深めよう」が数多く設けられ、学びに向かう力をさらに高めることができること。

以上により Gakken がよいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、真野委員、お願いします。

[真野委員]

私も Gakken がよいと思い、2点入れさせていただきました。

選定理由を2点ほど述べたいと思います。

1点目は、学習指導要領にある、生徒自ら道徳性を養う中で、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができるよう工夫すること、その際、道徳性を養うことの意義について生徒自ら考え、理解し、主体的に学習に取り組むことができるようにすることという視点です。つまり、生徒が主役の授業、先生が生徒とともに考え、楽しむ授業との観点です。教師や教科書があらかじめ考えた結末や正解に誘導するような授業からの脱却という視点です。

この点で考えると、発問数が少なく、発問内容がシンプル、教材のテーマが見出しに書かれていないなどの視点を重視しました。単純な理由のようなんですが、発問や教材のテーマが丁寧に書かれていれば、生徒があらかじめその内容に触れた場合、先回りして教材から導き出される結末や正解を頭に描いてしまうという懸念があると考えたからです。同じ教材を読んでも、生徒一人一人の受け止め方や感じ方、感じるポイントは異なるはずです。出来合いの発問に縛られない、その違いや気づきをすくい上げる、そういう授業を期待したいからです。

2点目は、教材の内容についてです。命やいじめ防止などのテーマを含め、人間性の描写が深い古典的な教材と新たな教材をバランスよく採用している点です。新たな教材では、現在活躍している人も登場するなど、生徒が身近に感じられる、第4次日野市学校教育基本構想にある、生徒一人一人が当事者として、自分事として捉えることができるという視点につながるものと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、正留委員、お願いします。

[正留委員]

私は Gakken がいいと思います。2点入れました。

教材から感じ取り、自己を見つめ、考えを深めることを大切にした教科書だと思います。

巻頭で、よりよい生き方について考える道徳科の目標を示し、いろいろな考える方法を簡潔に示し、さらに考えを深める4つのステップの「見つけよう」、「考えよう」、「話し合

おう」、「生き方につなげよう」について、キャラクターのリード文を効果的に入れ、分かりやすい説明が「主体的な学び」に向けた適切な構成であると思います。本文の教材名の下の一言がこれからの学びに引きつけるものとなっていて、導入の作りが大変いいと思います。また、「考えよう」の2つの発問はよく考えられており、学習者の様々な考えを引き出すものとなっていると思います。

教材は、4つの視点を3学年にわたりバランスよく配置してあり、適切で深い学びができるものだと思います。また、テーマとして、命と情報モラルについて、4つの視点と関連性を持たせ、取り組むようにしてあり、適切だと思います。

ほかに、ユニット学習で考えを深めたり、「深めよう」のページ、「クローズアップ」で深い学びができるような構成が図られていて、いいと思います。

イラストや写真は、各教材にふさわしい適切な表現と素材であり、いいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

それでは、岩下委員、お願いします。

[岩下委員]

日本文教出版に2点投じました。

その理由ですが、「いじめ」、「よりよい社会を考える」、「情報」など、ユニットとして教材が設定されております。「いじめ」に関しては、1年で3回、2・3年で2回、それぞれ長期休暇前に単元を配置しており、「視野を広げて」も1年に設けられており、深く考える工夫がされています。この「視野を広げて」のページは、それぞれ教材と関連性のある資料などを提示し、「深い学び」につながる問いが設定されています。

教材に対する問いについてですが、「考えてみよう」と「自分に+1」の2問が設けられており、「考えてみよう」では、教材に関する具体的な設問、「自分に+1」では、もう少し大きな捉え方に基づく設問で、必要に応じて漫画や付箋を使ったグループワーク、思考ツールによる考えの整理、役割演技などが設定されており、ステップを踏んで考えをまとめることができるようになっています。1年生と3年生で公共の乗り物でのエピソードを教材として取り上げており、様々な立場の意見を考える場面設定がされています。自分事として引き寄せやすい題材なので、活発な意見交換ができると思われます。

また、「明日へのメッセージ」は、様々な大人から、これから大人になる生徒たちへのメッセージが寄せられ、どんな大人になりたいかという考えを深めることができるようになっていると思います。

各学年に別冊ノートがあり、単元タイトルや挿絵はあるものの、記述欄は空欄で、使い勝手の制限がない作りになっています。

また、振り返りとして、3つの項目について自己評価することができるようになっており、自分を振り返るにはいいのかなと思いました。

以上のような観点から日本文教出版を評価いたしました。

[堀川教育長]

それでは、私、堀川からも意見を申し上げます。

道徳については、道徳の授業の中で物事を広い視野から多面的・多角的に考え、生き方

についての考えを深める学習を通して道徳性を養うことにつながるか、特に主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者とともによりよく生きていくことにつながるか、学んだ内容を具体的な学校生活の中で生かしていくことにつながるかという視点で評価をしました。これについては、Gakken に 1 点、日本文教出版に 1 点を投じました。

Gakken については、各教材の最後に設定されている発問について、生徒自身に引きつけて向き合うことができるよう工夫がされていること、単元の構成として、命に重点を置き、命を核として、生徒一人一人が生き方についての考えを深めていくための工夫がされていることを評価いたしました。

日本文教出版については、例えば「いじめ」について、年間を通じて向き合うユニットが配置されているなど、学校生活の中で生徒が実際に直面する様々な課題と引きつけて、生き方を考え、主体的な判断の下に行動することにつながる内容となっていることを評価いたしました。

以上です。

ほかに発言漏れ、追加はございませんか。

なければ、御意見はこれにて終結いたします。

道徳は、集計の結果、点数が 7 点と最も高かった Gakken を採択候補として選定したいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしとのことですので、道徳については、Gakken を採択候補といたします。

以上で、各教科の採択候補が決定しました。

以上で、協議事項第 1 号・日野市立中学校教科用図書の選定についてを終了いたします。

事務局は協議事項の内容を踏まえて議案書を差し替えてください。

ここで議事の都合上、休憩を取ります。17 時 15 分から再開いたします。

休憩 16 時 52 分

開始 17 時 15 分

[堀川教育長]

再開いたします。

議案第 26 号・日野市立中学校教科用図書の採択について、事務局より提案理由の説明をお願いします。教育部参事。

○議案第 26 号 日野市立中学校教科用図書の採択について

[長崎教育部参事]

教育部参事でございます。それでは、先ほどお配りしました議案を御覧ください。議案第 26 号・日野市立中学校教科用図書の採択について御説明いたします。

提案理由でございます。先ほど御協議いただきました結果を踏まえて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 21 条第 6 号及び義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 13 条第 1 項及び第 14 条、同法施行令第 14 条第 1 項及び第 15 条第 1 項

の規定に基づき、令和7年度に日野市立中学校で使用する教科用図書を採択するものでございます。

裏面を御覧ください。中学校教科用図書の種目及び令和7年度使用教科用図書の発行者を読み上げさせていただきます。

国語、光村図書出版株式会社。書写、光村図書出版株式会社。社会（地理的分野）、株式会社帝国書院。社会（歴史的分野）、株式会社帝国書院。社会（公民的分野）、株式会社帝国書院。地図、株式会社帝国書院。数学、教育出版株式会社。理科、東京書籍株式会社。音楽（一般）、株式会社教育芸術社。音楽（器楽）、株式会社教育芸術社。美術、日本文教出版株式会社。保健体育、株式会社Gakken。技術・家庭（技術分野）、東京書籍株式会社。技術・家庭（家庭分野）、東京書籍株式会社。外国語、光村図書出版株式会社。道徳、株式会社Gakken。

以上でございます。御審議のほど、よろしくお願いいたします。

[堀川教育長]

事務局からの説明が終了いたしました。この件については、先ほど協議いたしました、さらに御質問、御意見がございましたらお願いいたします。

なければ、御質問、御意見はこれにて終結いたします。

お諮りします。日野市立中学校教科用図書の採択についてを原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

[堀川教育長]

異議なしと認めます。議案第26号は原案のとおり可決されました。

議案第25号 日野市立小学校教科用図書の採択について、事務局より提案理由の説明をお願いします。教育部参事。

○議案第25号 日野市立小学校教科用図書の採択について

[長崎教育部参事]

教育部参事でございます。議案第25号・日野市立小学校教科用図書の採択について御説明いたします。

議案書1ページをお開きください。提案理由でございます。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条第1項及び第14条、同法施行令第14条第1項及び第15条第1項の規定に基づき、令和7年度に日野市立小学校で使用する教科用図書を採択するものでございます。

次のページ、2ページをお開きください。ここに記載する教科用図書について採択するものでございます。

小学校におきましては、学習指導要領の下で編集・発行された教科用図書を令和5年度に採択しております。今回の提案は、義務教育諸学校の教科用図書の無償処置に関する法律第14条に、義務教育諸学校において使用する教科用図書については、政令に定めると

ころにより、政令で定める期間、毎年度、種目ごとに同一の教科用図書を採択するものとするとありますため、このような形で提案するものでございます。

なお、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第15条には、種目ごとに同一の教科用図書を採択する期間は4年と規定されております。

説明は以上でございます。御審議のほど、よろしくお願いいたします。

[堀川教育長]

事務局からの説明が終了いたしました。御質問がございましたらお願いいたします。

なければ、御意見を伺います。

なければ、御質問、御意見はこれにて終結いたします。

お諮りします。日野市立小学校教科用図書の採択についてを原案のとおり決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしと認めます。議案第25号は原案のとおり可決されました。

議案第27号 日野市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について、事務局より提案理由の説明をお願いします。教育部参事。

○議案第27号 日野市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について

[長崎教育部参事]

教育部参事でございます。議案第27号・日野市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について御説明申し上げます。

議案書5ページをお開きください。提案理由でございます。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号、義務教育初学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条第1項及び第14条、同法施行令第14条第1項及び第15条第1項、学校教育法附則第9条第1項、同法施行規則第139条の規定に基づき、令和7年度に日野市立小・中学校の特別支援学級の児童生徒が使用する教科用図書を採択するものでございます。

ただいま提案理由で申し上げましたとおり、特別支援学級教科用図書の採択につきましては、小・中学校の特別支援学級で特別の教育課程を編成している場合、学校教育法附則第9条第1項、同法施行規則第139条の規定により、教科により当該学年用の文部科学省検定教科用図書を使用することが適当でないときは、当該学校の設置者の定めるところにより、他の適切な教科用図書を使用することができるとされております。

今回の特別支援学級教科用図書の採択につきまして、文部科学省検定教科書、文部科学省著作教科書及び学校教育法附則第9条第1項に規定する一般図書から採択することになります。各学校が文部科学省検定教科書を選定している場合については、特別支援学級でも通常の学級で使用している教科用図書と同様の教科用図書を使用することとなります。

小学校につきましては、令和5年度に採択され、令和9年度まで使用する教科用図書を特別支援学級で使用するようになります。

中学校につきましては、先ほど採択された教科用図書を特別支援学級でも使用いたします。

各学校から提出された使用教科書一覧に記載されている検定本については、令和7年度に通常の学級で使用する教科用図書と同一のものを使用します。

6 ページを御覧ください。特別支援学級教科用図書採択資料、調査研究の趣旨について、枠囲みの中の記載内容となります。

(1) 特別支援学級における教科用図書の調査研究についてを御覧ください。

今年度は、令和6年6月17日付の文書にて、各学校に特別支援学級教科用図書の調査研究を依頼いたしました。各学校において、教科用図書について調査研究を行い、特別支援学級設置校から7月1日までに教育委員会事務局に報告をいただいたところでございます。

(2) 調査研究の基本的な考え方を御覧ください。次の3点が基本的な考え方でございます。①、児童・生徒の障害の種類、程度、能力、特性に最もふさわしい内容の図書であること、②、可能な限り、系統的に編集されており、教科の目標に沿う内容を持つ図書であること、③、学年進行に当たって、上の学年で使用する事となる教科書との関連性を考慮することを踏まえて、各学校では調査研究をいたしました。

各学校の調査研究結果を一覧に整理したものが枠囲みの下にございます。各学校の調査研究結果一覧にも示しております。令和7年度については、各学校とも学年ごとに教科用図書を選択しております。

2行目の日野第三小学校の欄を御覧ください。各学年とも学年を単位として選定しており、音楽、図画工作の教科については文部科学省検定教科書を、国語、書写、社会、算数、理科、生活、家庭、保健、英語、道德の教科においては一般図書を選定しております。

8 ページから43 ページまでは、各学校で調査研究を行い、報告された資料でございます。各ページの図書名の前に表記された「検」、「文」、「市」という表記でございますけれども、「検」は文部科学省検定教科書、「文」は文部科学省著作教科書、「市」は学校教育法附則第9条に規定された一般図書を表しております。

また、横軸にございます教科書の記号・番号について記載のあるものについては、東京都教育委員会が調査研究を行った図書から選定しております。空欄のものについては、学校が独自に調査研究を行い、選定しております。

特別支援学級の教科用図書の選択といたしましては、学校教育法附則第9条に規定する一般図書から75冊、特別支援学校の小学部及び中学部で使用する文部科学省著作教科書から2冊、文部科学省検定教科書から77冊を選定しており、それぞれの障害の種別、程度等、個々の状況に応じて各学校から選定した報告がありました。

以上で、特別支援学級教科用図書の調査研究の経過並びに採択に関する説明を終わります。御審議のほど、よろしくお願いいたします。

[堀川教育長]

事務局からの説明が終了いたしました。御質問がございましたらお願いいたします。

なければ、御意見を伺います。

なければ、御質問、御意見はこれにて終結いたします。

お諮りします。日野市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択についてを原案のとおり決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしと認めます。議案第 27 号は原案のとおり可決されました。

報告事項第 12 号 行政情報の公開請求について、事務局より報告をお願いします。庶務課長。

○報告事項第 12 号 行政情報の公開請求について

[釜堀庶務課長]

庶務課長でございます。議案書 51 ページを御覧ください。報告事項第 12 号 行政情報の公開請求について報告をさせていただきます。

次ページをお開き願います。請求日、決定日、請求件名、決定内容は記載のとおりでございます。

報告は以上でございます。

[堀川教育長]

事務局からの報告が終了しました。御質問、御意見がございましたらお願いいたします。なければ、報告事項第 12 号を終了いたします。

これより議案第 28 号の審議に入りますが、本件につきましては、公開しない会議いたしますので、関係職員以外の事務局説明員は退席しても差し支えないと思います。

御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしと認めます。

関係職員以外の方は退席してください。

なお、本件の終了をもって、令和 6 年度第 5 回教育委員会定例会を閉会といたします。

(関係職員以外退室)

閉会 17 時 28 分